京城日報

廿九日夕刊

本紙定價 一部金一錢五厘 一ヶ月金五拾五錢(郵送料前金)一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金參圓七拾錢▲郵券代用二割増

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲欄內一行金壹圓貳拾錢▲三號活字の一行は二號活字同樣▲六號活字同樣▲場所指定の一行は五號活字同樣の率

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用三四五番 營業用二二六番 一二一四番 六六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

○希國宣戰布告決定

倫敦來電＝聯合通信社員九月二十七日雅典發電に據れば、希臘國王コンスタンチンは勃牙利に向つて直に宣戰布告を爲すに決定したる旨確定せり(紐育電報)

○ヴエネゼロス氏の宣言

雅典來電＝ヴエネゼロス氏は宣言を發して曰く、刻下の形勢は予を驅りて臨時政府を組織するの已む無きに至らしめたり但し此の擧は雅典政府の覆滅を目的とするにあらず希臘領マセドニヤ防備の爲め軍隊組織の必要あるが爲め斷行せられしに外ならず(紐育電報)

○ソンムの獨軍を制す

可き重要なる交叉路聯軍に歸す

聯合軍はバプラムの重要なる交叉路を占領したるが同處の占領は獨軍のソンムに於ける全陣地を動搖せしめチーブバールの占領は敵のアラースの北方に於ける戰線を動搖せしめたればチーブバールの占領はコムブルの占領以上の重要なる出來事なり(紐育電報)

●宗匪の蠢動

所在不穩の狀を呈す

蒙古軍は既に倫索山方面に向け無事退却したるが如きも同軍より分離せる宗社黨の殘類は夫々解散手當を貰ひ受け一時狩り集めたる苦力勞働者の輩は我が官憲の好意の下に撫順炭坑又は大連埠頭に使役する事となり其の一部は既に就職したるが殘類の內不逞のものは馬賊の群に投じ或は草賊と化し奧地方面の猶ほ混沌たるに乘じて擾亂を事とし居れり過日撫順に現はれ同地の支那巡警局を襲撃したる二百餘名の匪賊は自から宗社黨を標榜し郭家店に蒙軍の進出したる當時盛んに各方面に向つて配布したる檄文と全然同じ意味の檄文を配布したるが猶ほ其の一部は吉林省內に入込み同上宗社黨を標榜して種々運動を試みつゝあり又王泰山なるの率ゐる宗匪三十五名は八面城巡を襲はんとして三江口より同方ふ途中支那巡警八十名と衝突面城に行くを得ず其儘開原りたるが近時此種の小紛擾近を中心として絶えず起り蒙軍並びに宗社黨擧事のる餘波とも言ふべく勿論過ぎざるべし此の殘類大連に舞戻り放浪の結果又しても良からぬ行爲に出づる者あり現に數日前の夜對馬町附近にて日本人某の妻女が怪しき支那人のためにアワヤ辱めを受けんとして僅に免かれたる一事あり小崗子方面、寺兒溝近邊の如き婦人の一人歩きは頗る危險なる有樣となれり右につき警察にては更に警戒を嚴にする事とし目下市中の警邏に一層注意を加へ居れり(大連)

●吉林省の排日

蒙古軍の襲來、宗社黨の運動、鄭家屯事件の發生を見てより事情に迂き奧地方面の支那人は支那官憲の誤れる通告又は吹聽を信じて一意に之を日本の野心に基けるものと誤解し居るが如く殊に吉林省においては同地の紳商其他の有力者殆んど擧げて排日思想を懷けるものと推想し得べき傾向を馴致し來れり長嶺縣事件の際その蒙匪の間に日本兵も參雜せりとは彼等が代表者を選みて部省長を訪ひ質問したるとき憶に然りとの確答を得たる處らしく日本の野心眞に怖るべしとの說を流布して憚らず同地の商務總會員の如き此の誤解の下に日本人を嫉視し何等かの機會に之が報復として得意の排日手段に出でんとする模樣なきにあらず中國と日本とは交情素と敦睦と稱す然るに我の日本を待つこと日に益々親密なるに日本の我を待つこと日に益々疎遠なり我國人は日本に對して深惡痛絶の意なし之れ愛國心の薄弱なるにあらず實に日本が我と同種同文なるを念へばなり然るに日本の我國に對する譎詐縱横その意測り難く其の行動亦甚だ國際上の公理を蔑視して顧みざるものあり云々とは彼等有力者が現に唱說しつゝある所にして自然吉林省には益々排日思想の瀰蔓を見つゝあり今後の如何は未だ逆睹し易からざるも形勢現に斯くの如きを以て豫め警戒の要あるべし(大連)

●釀酒石數申告

酒稅令施行以前酒類製造の免許を受けたるものにして施行後尚製造を繼續するものは九月末日限り毎年九月より翌年八月迄の間に製造すべき酒類の種別見込石數製造方法及其の製造期間を京城府廳に申告すべき規定にして若し其の申告を怠るときは五十圓以下の罰金又は科料に處せらるゝに依り製造業者は此際充分の注意を要すと

●中旬鮮鐵收入

九月中旬に於ける鮮鐵運輸收入は客車收入十萬七千七百七十九圓貨車收入十萬三千八百十九圓合計二十一萬一千五百九十八圓にて前年に比し二萬四千九百七十九圓を減じ一日一哩平均は二十一圓零二錢なり

●鑛業出願形勢依然

本年四月以降の鑛業出願形勢は依然として盛況を保ちつゝあり今九月に於ける二十八日迄の出願統計を聞くに既に三百件の超過を示しつゝあり而して鑛種は金、鐵、黑鉛を主とする狀況に在り本月に入り各種出願者に對し許可の通知を發したるもの本日迄約七十件に達したるが是等被許可者にして果して登錄して鑛業權の設定を爲すもの全部あるや否やは未定なりと

●南鮮水產試驗

總督府水產課技師葛蒲治太郎氏は一兩日中江原道及び南鮮方面に出張する由なるが主なる用向きは鮑海鼠貽介の生長度合製造試驗の爲めにて江原道に最も多くの時日を費すべし

●定例長官會議

二十九日は定例長官會議當日に付午前十時より本府會議室に山縣政務總監以下各部局長官並に代理者參集通常政務を議し正午散會したるが例により古海發務總長鈴木土地調査、持地土木小松總務三局長列席せり

●檢査課長會同

稅關檢査課長會同第五日は今二十九日午前九時より第二會議室に於て開會西川、市川兩鑑定官、松尾、野崎各鑑定官補を始め水口關稅課長、關係局出席水口度支部長官代理臨場整理の下に前日に引續き日程に入り午前午後共事務打合を爲し午後四時半散會せり尚同會議は二十九日を以て終了の豫定なりしも會議事項多く一日を延期して三十日迄開會す可し

●辭令

陸軍憲兵中尉正七位 藤井旗太郎
同 荻原茂夫
同 島山穆雄
同 瀧野秀吉
同 木村滿治
同 小田金平
任朝鮮總督府警視

●川村元帥招宴

山縣政務總監は來月四日入京すべき川村元帥を五日若くは六日朝鮮ホテル或は大和町の官邸に招待晩餐會を催す由なるが日時は元帥著京後定めらるべしと

▲立花中將催宴

立花第十九師團長は十月四日入京の川村元帥が六日龍山兵營を巡視する當日官邸に招待午餐會を催す由なるが松永道長官、白水軍參謀長、高橋武官、岡本師團參謀課長其他も陪賓として招ずる由

●立花師團長延發

平壤旅團秋期機動演習觀戰の爲め四日黃海道方面へ出馬の筈なりし立花師團長は川村元帥四日入京の事に確定せしに付都合上六日に延期出發すべしと

●米大使北京行

駐日米國大使ガスリー氏は三日夜入京朝鮮ホテルに滯在六日朝鮮滿直通列車にて北行の事は既報の如きが其の旅行目的地は北京なりと

●石塚長官歸鄉

東上中の石塚農商工部長官は二十八日東京出發若松に歸省嚴君の病氣を見舞ひしが多分十月一日若松發東京に出づべしと

●荻田總務課長出張

荻田總督府總務課長は地方統計事務視察の爲め十月三日より江原咸南兩道へ出張中旬歸任すべしと

●川田課長歸任

川田朝鮮文書兼經理課長は歸鄉中の所二十八日歸任せり

●演習參加將校

來る十月上旬より擧行さるべき第十九師團秋季演習に關しては既報せし如くなるが宮池副官及び佐伯主計等は北鮮に行はるべき第三十七旅團演習參加の爲め二十九日午前九時二十分龍山發列車にて北鮮に向ひたり尚小田參謀は之が參觀の爲め來月二日頃出發の豫定にて第三十九旅團演習には須田參謀澄山主計等四日頃出發參加し師團長及び山崎參謀大森副官等參觀の豫定なりと

●現役入營者と旅費

現役入營に際し其の入營事故の爲め歸鄉を命ぜられたる者にして旅費の支給を受くるに非ざれば歸鄉する事能はざる者に對しては其の歸鄉を命じたる部隊長より交付せし證明書に基づき歸鄉を命ぜられたる地の道又は府に於て旅費繰替支辦する由

●西山銃工長轉任

朝鮮駐劄軍陸軍兵器支廠附西山一等銃工長は今回仙臺兵器支廠銃工長に轉任を命せられ不日任地に向け出發の筈

●町洞總代規則

京城府協議會にて決定京城府協議會に諮問案として提出され結果二十八日の府公文を以て發布を見るに至りたり今回設置の町洞總代なるものは舊民團當時に於ける衞生組長の事務を一層擴大したるものにして其後公には絶ねて此種の制度なかりしものを新に規定を見るに至りしものなり卽ち新規則は內鮮人を一團とし各町洞內の公共事務を補助せしむるを目的とし數町洞を一區域となすことをも得るものなり總代は町洞內にて適當の人物を選任し府尹の承認を得て決定すべきものなり而して町洞內に於て重要事項に就き更に總代の事務を補助する必要を認めたる場合あるときは五名以內の評議員を選任することを得べし、總代評議員の任期は二箇年とし其處理す可き事務の概要は

一、法令其他一般に周知を要する事項の傳達に關する件
二、就學の督勵其他學事に關する件
三、傳染病の豫防救治其他一般衞生に關する件
四、國稅其他諸公課の滯納矯正に關する件
五、民、戶籍法、宿泊並居住規則に依る諸種の屆出及び營業に關する諸屆の勵行に關する件
六、府內の諸官衙公署と町洞民間の連絡に關する件
七、町洞內共同一致の風を涵成し其發達を期する件
八、前各號の外府尹に於て必要と認めたる事項

の八項にして都市行政上一段の進步と云はざるべからず京城府は既に府內を百四十七區に區分し各區に一人宛の町又は洞總代を置くことゝなり居り遲くとも本年內に選擧を終らしむる筈なりと

●問題となれる校長室

京城學校組合の所管に屬する七小學校にありては從來一般職員と校長との事務室を別にし居たるものなるが此程開會したる校長會議の結果各校一齊に校長室を廢し普通職員室に同居することゝなりたり其の茲に至れる因由は曩に西大門小學校の一年生が休み時間中窓外に墜落遂に死亡したるため部下敎員の監督上校長室を別にするは不充分なりとしたると他面には來年度より開校す可き訓練院小學校には經費の都合上校長室を設けざることに設計されたるため竣工後他との均衡上現在の各學校に對し校長室の廢止を斷行するに至りたるものなりと同時に一學年擔當の敎員は全部其々の受持敎室に机を置き絶えず生徒の監視を行はしむることゝなる筈なり然るに校長室は內地にても一二田舍の學校を除くの他は何れも設備せられざるものなく況んや一年生の行動を絶えず監督すると云ふが如きは到底不可能のことにて若し完全に行はんとすれば一年生受持の敎員を數名乃至十數名增加するにあらざれば實行し得ざることゝなりとの批難盛んに起り學校管理上由々しき研究問題なりとの說を爲す者多き模樣なり從つて校長室合併一年生監視方法の如きは今回京城のものを以て嚆矢とす

●連絡問題と京城商議

三線連絡問題に關し釜山商業會議所は二十八日京城會議所に對し電報及び書狀を以て同問題に相當の援助を與へられんことを申込み來りたるが京城商業會議所としては尚ほ考慮の餘地を存するを以て暫時同運動には關係せざる旨の回答を爲したり

●露歐視察員出發期

京城商業會議所より露國貿易調査のため派遣さるゝ觀察員一行は來月六日當地出發のことに決定し居れるが會員其他より商品見本の委托を申込み來りたるもの多く豫期以上の成績を擧げ得可き見込也と

●兵器支廠と平壤

兵器支廠を朝鮮に設置すべく已に來年度豫算に計上されたりとの報傳はるや平壤府民は本問題を以て平壤の興廢に關する問題なりとし二十六日午後八時より平壤商業會議所樓上に十一會員等相集り席上本問題に付研究討議する處ありたり結果平壤兵器支廠設置期成會を組織し同時に左記十二名に對し委員を囑托し十月一日午後七時より平壤貴金町演武場に於て市民有志大會を開催し將來市民一致團結して本問題の貫徹に努力すべく決議すべしと

委員長大橋恒藏 委員古莊仁太郎 同上谷亮藏 同奥田延之助 同內田錄雄 同在間行太 同村井正明 同富田晋二 同高阪一惠 同神阪退三 同吉歌要助 同川上靜介

●芙江鑛山近況

忠淸北道芙江附近は重石鑛及び金鑛の點在せるもの多く就中重石鑛最も多けれ共鑛區許可は一箇所にて他は尚試掘中の有樣なり本年に入りて八月末までにて最多量を輸出したるは四月の一萬四千六百二十七斤にて其他は二千五百斤平均に輸出し居れり飯田鑛業所は瓦斯發動機を使用し最も大規模に採取しつゝあり然るに價格は一時一斤三圓以上なりしも現今一圓二三十錢まで低落したる爲め一般に多少の影響ありたるものゝ如し尤も附近二里乃至三里平方里の地點は重石鑛脈あるを以て富野古川其他より許可出願に拘るもの多し今一般より云ふ時は重石熱冷めたるを以て隨つて芙江金融界にも影響ある模樣なり金鑛に至つては四箇所の鑛區あるも七月十三日以降の雨の爲め休鑛同樣にて作業に從事仕難きを以て輸出を見るに至らず天候恢復確定せば或は年內多少の輸出を見るやも知れずと

●大邱中學分校問題

來年度に於ける中學設立は大田に決定せるより大邱府民は釜山中學分校設置の熱望を以て其筋に懇願する所あらんとし過日學校組合議員協議の結果鈴木道長官、竹崎大邱府尹に出府陳情を請ひたるに鈴木道長官は自ら進むで大邱に於ける中學敎育問題の將來に就き本府の意嚮を聞く可く出府したるが二十七日同長官より竹崎府尹に宛て詳細なる通信ありたれば府尹は同夜學校組合會議員を府廳に招集し其理由を說明せり

●船腹幾分餘裕か

歐洲戰亂以來一般海運に船腹の不足を來し本年四月頃は最率を示し大阪商船の如きは四月頃門司橫濱間は石炭一噸に付三圓位なりしが其後底落を見二圓七十錢より五十錢六十錢と次第下落を以て最近船腹に幾分餘裕あるが故に目下一圓七十錢なるも每年秋口より冬季は高率を示す時なれば今が最底率なるべし

●鹿兒島縣視察團

鹿兒島縣敎育視察團一行廿七名は廿八日夜入京京城ホテルに入り廿九日朝總督府を訪問敬意を表し日程により各方面の視察をなせしが午後四時より西大門俱樂部にて弓削學務課長のなせる朝鮮事情及び敎育狀況の講演を聞き引續き同俱樂部にて政務總監より茶菓を饗應されたり

●福岡農學生一行

豫て鮮內各地農事視察の爲め入京中なりし福岡農學校職員生徒一行六十四名は二十八日夜大田に向ひたり

春川

▲金融組合事務擴張 春川金融組合は明治四十二年七月より事務開始せられ現在四百二十九名の組合員と一萬九千圓の運轉資金を有し組合員中には無資產の者も少からざるも成績逐年向上し江原道樞機の位置として恥ざる狀態なりと▲吉武書記榮轉 昨年四月春川郵便局次席として著任以來克く局長の意圖に從ひ專ら事務の改善に努めつゝありし吉武通信書記は今回遞信局詰に榮轉廿四日出發赴任

西鮮行寸信

二十七日信川にて 日新生

▲夜來の風益々荒れて目も開けられぬ中に自動車を飛ばし午前十時といふに載寧著夫れより接待用のトロにて鑛業所主任白井氏と共に載寧鐵山に赴き申候▲當鐵山は目下七百名許りの人夫を使役し盛に採掘搬出致し居り候が採掘は漸次深部に進み來り候へば近き將來に於て地平線下の掘採に對する諸設備を整頓の要有之候▲今年の搬出 命令鑛量は九萬噸にて鐵山經營以來の採掘量五十萬噸に達し尚ほ採鑛中に候へば全鑛量は未知數なるも先づ二百萬噸は下らざる見込の由に候▲鑛區を一巡後午餐の饗應を受け先發の小林氏より送られたる人車を驅つて午後二時載寧邑內著、少憩の上烈風を衝いて更に信川に向ひ候▲載寧信川を結ぶ道路は全く天下の惡道にて凸凹甚しく小生の先きに進み居たる人車は牛車の轍跡に落ち込むで轉覆いたし俄客は田圃の中に放り出され申候、然し小生は兎も角無事にて午後六時信川落松榮舘に小林氏と落合ひ申候

仁川

▲警務部長歸任 防疫視察の爲め二十八日來仁したる隈部警務部長は二十九日午前九時歸任▲久水府尹上京 久水府尹は二十九日防疫事務打合せの爲め上京即日歸任の筈▲支那人寄附 在留支那人數名は二十八日防疫費中に百四十二圓を寄附したり▲救助米百二十石 仁川府に於ける貧民救助米は百二十石に達し救助內延人員は實に三萬五千人なりと▲兒童收容 花里所在天道敎會內に今回虎疫發生患家の兒童にして必要と認むる者を收容する事となり二十八日二名を收容したり▲紐峴驛封鎖解除 虎疫發生以來嚴重に封鎖されたる紐峴驛は二十九日より警戒を解きたり▲大麥播種期 遮斷區域擴大と共に鮮人部落民は殆んど蟄居し居るが爲めに小麥の播種期を失し昨今大麥の播種期に入りたる折柄やゝ愁眉の徵現はれたるを以て一般に生色動けりと

黃州

▲三郡聯合品評會 黃州鳳山瑞興の三郡は聯合して十月一日より十日間黃州城內元守備隊兵舍の跡に於て開催せらるゝ因みに出品點數は一千餘點の見込なりと同時に市內を賑せるため手踊其他の餘興ある由▲明治農會果樹園 京義線黃州に於ける明治農會及び石井果樹園は採取の果樹を滿洲方面よりの注文を受け輸出荷造のため荷造に忙殺され居れり

光州

▲棉花視察團 全北高敞郡守千章郁氏に引率され廿六名は同郡より來光の上各所視察種苗場に於て本道綾田技師の講話を聽き午後三時發松汀里を經て羅州へ向へるが榮山浦木浦をも視察の上歸商すべしと▲大村小學校開校式 廿六日光州郡大村小學校開校式を擧行せしが道より下坂學務主任郡より牛島主任書記出席せり同校は東拓の移民學校にて生徒十八名を有し校舍は頗る整頓せりと▲衞生區長會議 廿七日光州署にては光州衞生組合區長を召集し衞生上の意見を聞かはしたる後實行事項數箇條を決議し最後に杉山醫師の講演鈴木署長の訓諭等ありて散會せり▲衞戍分院嚴戒 光州衞戍分院にては虎疫豫防の爲め今後入院患者の面會を禁止し尚出入者には嚴重なる取締を施す事となれり▲學校組合會計檢査 道及び郡會計係は二十六七兩日光州學校組合の會計檢査を執行したるが無事違算なく終了せり▲庭球對抗試合 光州庭球團は木浦庭球團へ對し對抗試合を申込み其承諾を得たるを以て近く光州にて一大對抗試合を催すべし

人事消息

▲吉川岩喜氏(平壤鑛業所技師) 鑛床調査の爲め十日より慶北へ出張
▲葛蒲治太郎氏(水產課技師) 兩三日中に慶北江原咸南地方へ出張
▲シラツバ氏(米國商人) 二十九日朝奉天より入京朝鮮ホテルへ
▲ペローマン氏、バアツカー氏(英國宣敎師) 二十九日朝成歡方面へ

□雲海丸機關長江口俊治君の北米行を送る

日章旗浪蹴る船や秋高き 大塊
太平洋の眞只中の後の月 烏堂
米利堅の秋の山川見て來よ 目油
船や大巨浪突破す秋の晴れ〳〵 虎耳

猶太人大仕掛の隠謀

露國内の金塊を密かに獨逸に輸出せんとす

金に淡泊な露西亞氣質―哈爾賓歸客談

西比利亞に戰爭成金が大分出來た

來獨墺方面の露軍は連戰連勝の勢であるから開戰以來兎角沈睡勝ちであつた各地の市況なども俄に引立つて來た殊に

■哈爾賓の市街 などは近來著しく好況を呈して從來非常に厳重であつた禁酒令なども近來少しは緩んだ樣にも見受けられる露西亞は景氣が好いと成ると隨分思ひ切つて金を使ふから市況は愈々引立つ事に成る元來露西亞人には貯蓄心と云ふやうなものは極めて少なく中佐大佐位の人達でも月給などは十日も持つて居らず根こそぎ使つて終つて月半頃から文なしに成つて知邊の人達を借り廻つて火の車で暮して居ると云ふ向きが頗る多いよく日本などへ來る觀光團で豫定した旅費を三越などへ這入つて全部買物をして終つて

■歸りの旅費は 借りて歸るやうな事が往々ある、隨分大きな金持も居るが其れ等の人達も日本人などと違つて金利の事などは餘り考へては居らぬらしい幾千といふ大金を何時までも自分の家の金庫の中に寢せて置く商業を遣つても賊に遣り繰りが下手であるから五六十萬位の資財を持つて大商人が僅はかりの手形の不渡を遣るやうな事が往々にあるそれで銀行などでも露西亞人の信用調査を爲るには一通りならぬ困難を感ずる、又

■露西亞の銀行 といふものは殆ど獨逸人と猶太人との手に由つて支配されて居つて純然露國人ばかりの銀行と云ふのは殆と無い位である猶太人は哈爾賓浦鹽等にも深山入り込んで居る浦鹽あたりで一寸頭は上げて居る紳商は大概猶太人である彼等は支那人と同じ樣に金錢に對して先天的能力を有つて居る人格も下劣で隨分金に掛けては惡く敏捷つこい奴であるつい近い頃もモスコウに居る數名の猶太人は共謀して大仕掛けに露國内の金を買收して獨逸へ輸出して居る處を捕縛された事も有つた斯んな風であるから浦鹽や哈爾賓等の東方西伯利亞には餘り戰爭の爲めに大いした成金に成つた猶太人も少ないが歐露の方には

■隨分戰爭成金 が多くて夫れ等は何れも露國に籍を置いて在る猶太人であつて露國人としては殆ど數へる程しか無いといふ話である畢竟するに露國人は資本家としては適當であるが實務に當つて商法とか其の他の金儲けを爲るには頗る不適當である亦露國人の理想とする處も澤山の不動産でも持つて其の收獲に由つて大名的生活を爲て見たいと云ふのが其の第一理想とする處である、概して露西亞人は有價證券とか紙幣だの手形など云ふものは

■嫌いで現金を 持つて居たがつて居る故に貯金なども下級の月給取りか勞働者が少しばかりするだけであつて一般の銀行は貯蓄預金の取扱ひを爲して居らず大藏省の貯金局が處々に出張して貯蓄預金を取扱つて居るがそれも日本の遞信省の郵便貯金のやうに熱心に勸誘をするのとは大變な相違で殆ど放任の狀態である

注射されて卽死す

朝鮮醫生六百六號の使用を誤る

曲、使用者にあるか賣藥業者に在る乎

咸北會寧郡會寧面二洞居住の陳弼渉（三〇）は元總督府醫院養成所卒業の醫生にて會寧慈惠醫院に勤務中のものなるが知合ひなる同洞居住の雜貨商鄭仁龍（三三）は黴毒症に罹り是れが

▲治療の爲め 陳弼渉に六百六號の注射を依賴し七月十六日午後四時頃陳は居宅にて注射をなすに際し同慈惠醫院の助手を勤め居れる權寧燦（三）を立合ひに求め鄭仁龍の左腕靜脈に注射したるに同人は約四十分間の後絶命したり、是が原因に就き取調べの結果六百六號には新舊兩種あり卽ち新藥ネオサルヴァルサンと舊藥サルヴァルサンにして各其の注射分量も異り居れるものなるが陳醫生が使用したるものは其の外包紙箱にはネオサルヴァルサンとの文字を羅馬字及び日本文片假名にて記載しあるに更に中に容り居る瓶のレッテルには單は

▲羅馬字にて 舊藥卽ちサルヴァルサンの文字あり然るに同人は外包の紙箱に新藥の文字ありたるを以て是れ新藥なりと信じて中瓶在中のものが舊藥なりしに心付かず又羅馬字を讀み得ざりし爲め舊藥は十瓦の食鹽に溶解したる上苛性アルカリを加ふべきに新六百六號の使用法に依り一〇瓦の〇、四％の食鹽水に溶解したる濃厚液を注射したるものなりと被告は申し立てたるが則ち被告は舊藥の使用をなすと同樣に錯誤して濃厚液を患者に注入したる爲め卽時中毒を起して死亡するに至らしめたるものと判明し前記兩名は過失致死罪として此程咸興地方法院會寧支廳に於て陳は罰金百圓、權は同五十圓の判決ありたるに之を不服とし京城覆審法院に控訴し二十九日之が公判開廷ありしが

▲檢事は是れ 全く過失に因るものにして羅馬字を讀み得ざる爲め誤認したりとは申されず又若し不明なる點あれば内地人醫師に就て訊ねたる上注射すべきものなりと論じ之に對し辯護士は辯じて曰く元來藥品の容れある瓶には必ず日本文字を以て藥名を表はすが規則となり居り羅馬字は併せて記すことを得るといふに止まり居るにも係らず陳醫生の使用したるものには日本文字なく且つ容器の文字と中の瓶に入り居るものと相違しあるは其責任は醫生にあらず同

▲藥品を製造 したる者及び之を取扱ひたる者にありと辯駁して結審し十月二日判決ある筈なり因みに陳醫生の使用したる六百六號の說明書には支那及び日本總代理店神戸市京町七十五番地、横濱市山下町二百十一番地チャイナ、エキス、ポート、イムポート、エンド、バンコク、コンパニー獨逸商通稱禮信洋行と記載しありたり

◆冷氣頓に加はる

仁川觀測所員の談に依れば二十八日朝來京仁地方の冷氣頓に加はり京城七度六仁川九度四にて平年より五度下降したるが朝鮮北部國境は氷點下に下降せりと

帆船の難破 乘組員生死不明

二十八日鴨綠江口附近に於て帆船神濟丸（二十三噸）は風波の爲め沈沒せり乘組員生死不明にて目下搜索中（安東特電）

強盗を叩き殺す

江原道三陟郡遠德面梧川里閔良楠（六一）方に一名の賊侵入し麻繩を以て良楠を縛し食刀を示して金一千圓を出せと脅迫し居れる内良楠の妻が逃げ出して救ひを絶叫せしかば近隣の者集まり件の賊を叩き殺したるが賊は同道蔚珍郡北面興富洞黄英伯（三九）といふものなりと

秋の文展（七） 外國の初夏 小寺謙吉畫

乃木神社に詣づ

神官は旅順戰役當時の勇士

建築の社位は東面拜殿は南面せるもの多きに乃木神社は北面せり、これは桃山御陵に奉仕の意を含みて故らにせられたるなりと、村野翁個人の遺慾としては洵に立派なる建築なり、此無格の乃木神社は一萬圓の基本財産と同氏夫妻が毎年二千五百圓宛寄附する金圓によつて維持せらるといふ

社守は同氏夫妻之に當り、神職守は岐阜縣大垣町の退役砲兵大尉可兒鶴二君神職として奉仕す氏は日露役の功にて功五級金鵄章を授かり乃木將軍を敬慕する事深し神官は同縣惠那郡三郷村退役歩兵伍長伊藤禎二君にてこれ亦旅順攻圍軍に加り將軍より感狀を受け戰後功六級を授けられたる當年の勇士なりとゝに參詣して得たる印象は神人不二の理なり社務所にてお守札を出せるは如何にや、將軍の神格と矛盾する處なきか疑問なり（支局 記）

◇謎は斯うして解いた

輕井澤犯人探偵の苦心

輕井澤事件の犯人川上瞳が警視廳へ來て『私が輕井澤の教會社に居ると云ふ事がどうして解つたらう』と不思議がつて居た而して探偵と云ふものが如何に微妙なものであるかと云ふ事を驚嘆して又什うして川上瞳が犯人なりと判つたらう而して如何にして瞳が捕へられたらう、探偵の端緒！捕縛の機微！其徑路には實に奇々妙々なるものがある

長野縣警察部は此犯人の探偵に對しては全然失敗であつた、抑も川上瞳が輕井澤の犯人ぢやないか知らんと最初に目星を付けたのは實際長野警察部であつた、八月中旬輕井澤停車場前松本シン方に止宿した客が短刀を持つて居たと云ふ事を輕井澤署で聞き込んで短刀の鞘を持つて行き、『短刀は是か』と同宿者や主人に問うて見た『鞘が違う』『曲つて居た』と云ふ樣に意見は區々で

▲此男が犯人だ とは斷定する事が出來なかつた併し其名は川上瞳と云ふので現籍も栃木縣那須郡那賀村生と解つたが斯んな譯で長野縣では犯人として決して重きを置く迄には至らなかつた其後淺間山麓から血染の洋服が出た無論其は輕井澤事件の犯人が當夜著した詰襟の服で縣警察部は五人程あつた嫌疑者の立廻り家を持廻つた無論其中には川上瞳も加はつて居たのである瞳の立廻つた先を廻つた時どうも斯うした服を著て居た樣にも思ふがよく解らないと云ふ事であつた輕井澤署では無駄と思ひつゝ川上の現籍那賀村へ刑事を派した所が

▲瞳は帝國軍人 で然も砲兵軍曹で現に豫備召集で宇都宮聯隊に入隊して居ると聞いて一も二もなく『此れは犯人ぢやない』と出張の刑事は落膽して輕井澤に引き揚げたのである此處で長野縣警察部の探偵の端緒はブツリと切れて終つた大なる疑問は血染の洋服である、洋服の裏には『四十三３６１３』と記してある、此數字は何を語るであらうか長野縣警察部は悲しいかな

▲此疑問を解く 事は出來なかつた『四十三３６１３』の印が付いて居る血染の服がどうして犯人と結び付くであらう長野縣警察部では栃木縣から歸て何の術も無くなつて血染の服を携て内務省へやつて來た『血染の服は出たが手掛りがありません』と永岡書記官に訴へた書記官は『兎に角警視廳へ持つて行つたらどうだ』とあつて血染の服は警視廳へ持參された橋爪係長石森警部城島刑事部長秋山山野外五名の刑事等は

▲鋭い探偵眼 を光らせて血染の服に斷案を下した『四十三……言ふまでもなく四十三年だ……３６１３……三千六百十三號……三千人以上職工を使用して服を支給する工場は何處にあらう？』此が數字を說く謎であつて『電氣局』石森警部と城島部長は同時に叫んだ刑事二名は直に電氣局へ走つた『此は當局支給の服です』『シメた』大塚刑事は思はず叫んで被服部の帳面を調た『四十三年十一月……千六百十三號淺草區清島町十二番地若山牛造交付』『有難う』

▲先きから先へ 自動車は清島町へ走つた『君は此服を誰にやつたのだ』『四十四年頃に下谷萬年町二奥山質店へ入質した限りです』自動車は更に質屋へ飛んだ質屋の番頭が質帳を繰ると『本年一月に流れて柳原堤卽ち神田區岩本町五宮島古著店へ賣つた』宮島古著店では職工地たる横須賀汐止松崎古著店へ賣却したことが判つた輕井澤の犯人と横須賀の古著店、一體犯人と服が什う結び付くのであらう（つゞく）東京支局

コレラ彙報

▲釜山に二名 二十六日午後一時釜山港東口より釜山に入港し來りたる見張の漁船中の醫官直に檢問したるに一名の死者あるより檢疫官に急報し檢疫の結果眞正虎列拉と判明せり死者は愛媛縣越智郡宮窪村常時牧の島漁夫藤森要助（四四）にて同人の外四名と共に去る十七日方魚津方面に出漁したるに二十四日、二十五日の兩日吐瀉下痢をなし二十六日に至り遂に死亡したる由 又同日午後北濱海岸碇泊中の帆船八幡丸船長森英太郎（三六）は突然發病し久保院長、朱花檢疫官立會檢鏡の結果疑似虎列拉と確定し船員共に停留を命ぜらる 同船は去る廿一日順天より入港せしものなりと（釜山）

▲釜山に眞正 釜山草梁魚菜市場裏手に鮮人の眞正虎列拉發生し附近一帶の消毒を爲し交通遮斷を爲せり（釜山特電）

▲百五十隻停留 碇泊中の漁船内にて發病せし漁夫吉森百松は檢鏡の結果眞正と確定し漁港内の船百五十隻停留隔離されたり（釜山特電）

▲漁船百隻封鎖 浦項に四名の疑似虎列拉患者發生し患者は孰れも漁夫なるより目下迎日灣内に假泊せる百餘隻の漁船全部は設備より厳重なる停船命令を受け更に乘組員殘らず健康診斷を受けつゝあれば或は眞性患者を發見するやも知れずと人心頗る恟々たり（大邱特電）

▲眞正患者死亡 既報の如く慶北浦項港避難中吐瀉に罹り漁夫四名は大邱慈惠醫院に於て檢鏡の結果疑似虎列拉を發見せしかば培養試驗を行ひし處四名共愈々眞正虎列拉と確定したるが患者中小田、中濱の兩名は二十六日午後死亡し又廿七日午後に至り和田も遂に死亡するに至れり獨り田中のみ經過稍々良好なりし

▲停留百廿七名 廿八日午前高麗丸の乘船客は二百三十一名の内百廿七名の停留者ありしが神仙臺には滿員を告げ收容する能はざるを以て其過半數を榮町假分室に收容せり（釜山）

▲十一名の吐瀉 二十九日大邱にて吐瀉病十一名を出したるが内疑似患者五名、死亡六名あり德山町は交通遮斷さる（大邱特電）

讀者文藝（一等には五十錢の郵便切手を呈す）

△俗謡『自慢』

△放すまいぞとからんだ岩に色を自慢の蔦紅葉（一等） 光熙町 東 海

△下る枝の梢に交じる所自慢の妹が聲 三河屋橋 關口 曉昇

△話自慢の按摩を呼んで秋の夜長をとらせたい 京城 龜田 未晩

△嬉し樂しい夢作說辯が自慢の料理役 鍾北尊山 宮崎原太郎

△國の自慢をするがの富士乃山と高さとくらべたい 京城 平野 藤吉

△主は名月私は海下で自慢の三味をひく 仁川 池田 宗郎

▲平野巡査は赤痢か 仁川防疫中の平野巡査が廿八日發病虎疫に傳染せし樣記載せしも其後の容態によれば同巡査は赤痢或は腸窒扶斯に罹病せしものゝ如く目下療養中也

▲女學校教諭死亡 仁川山手町穴門通日方同居高女教諭矢野なほ子は眞正虎列拉さして敕裕中二十九日午前六時死亡す（仁川）

▲生徒豫防注射 仁川藥商北島泰山氏は二十九日仁川各學校に豫防注射液を寄贈したるを以て左の日割に依り同小學校内に於て學校醫專ら注射に掌る由なれば希望者は此際進んで注射を受けらる可しと

三十日午前八時半より尋常科五年以上の男生徒同午後三時より商業專修學校生徒十月一日午前八時半より高等女學校生徒二日午前八時半より尋常五年以上の男生徒同午後三時より尋常科四年生以下同小學生同午後三時より同上女生徒

◆七十三歳の泥棒

住所不定劉成國（七三）といふ老人は十八日京城□□町にて高陽郡漢芝面往十里の野菜賣李元福が荷物の上に置きありたる秤器一個を窃取して逃走中を同人に取押へられ本町署に突き出さる

▲怪しい患者は脚氣 廿七日午後五時頃釜山署に一封の投書舞込みたり其の文意に依れば牧の島燒場沖の停泊中の釜山水產會社第六漁船廣進丸中に虎列拉患者ありとの事なれば折柄居合せたる相境警部直に巡査一名と共に現場に赴き取調べたるに漁夫の便乘者山口縣人岩崎一なるものが廿七日午前十時頃より吐瀉する事二回に及び同日午後六時半死去せるものと分り直に檢疫の結果脚氣衝心と判明せり（釜山）

◎嶄新なる景品付賣出し 京城本町一丁目ますや呉服店にては冬物全部品揃に付き十月一日より五日迄大賣出しを開始する筈なるが今回特に金三圓以上の御買求めに對し嶄新なる方法にて一等黒羽二重紋付より七等迄進呈する由

京城府告示第十九號

町洞總代設置規則左ノ通定ム

大正五年九月二十八日 朝鮮總督府府尹 金谷充

町洞總代設置規則

第一條 町洞内公共事務ヲ補助セシムル爲各町洞ニ總代ヲ置ク但シ數町洞ヲ一區域トシ總代ヲ置クコトヲ得

第二條 町洞總代ハ町洞内ニ於テ選任シ府尹ノ承認ヲ受クヘシ

第三條 總代ハ町洞内ニ於テ重要事項ニ付キ町洞事務ヲ補助スル爲必要アルトキハ五名以内ノ評議員ヲ選任スルコトヲ得但シ此ノ制限ヲ超過スル場合ハ府尹ノ承認ヲ受クヘシ

第四條 總代及評議員ノ任期ハ二箇年トス

第五條 總代ノ處理スヘキ事務ノ概目左ノ如シ

一、法令其ノ他一般ニ周知ヲ要スル事項ノ傳達ニ關スルコト

二、就學ノ督勵其ノ他學事ニ關スルコト

三、傳染病ノ豫防救治其ノ他一般衞生ニ關スルコト

四、國税其ノ他諸公課ノ滯納矯正ニ關スルコト

五、民籍法、宿泊並居住規則ニ依ル諸種ノ屆出及營業ニ關スル諸屆ノ勵行ニ關スルコト

六、府内諸官衙公署ト町洞住民間ノ連絡ニ關スルコト

七、町洞内共同一致ノ風ヲ養成シ其ノ發達ヲ期スルコト

八、其ノ他府尹ニ於テ必要ト認ムル事項

第六條 總代退職ノトキハ關係書類ヲ後任者ニ引繼クヘシ

第七條 總代ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

〈演藝案内〉

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館
○九月廿六日より新寫眞提供 ○滑稽『白髪染』 △實寫エクレール週報 ○英國アンダーソン會社傑作 ○探偵活劇 倫敦暗黒面 全四卷
○新派大悲劇 誓ひ 全三卷
○赤穗義士 武林唯七 全三卷

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會 朝鮮特約 電話一八五二（階上）二六三七（階下） 黄金館
○九月二十七日より特別大興行 △米國ユニヴァサール會社特作 ○大冒險大活劇終編『名金』六卷
○新派連鎖劇 小夜子 全三卷

御成町 電話一一九一 御成座
▲朝鮮新派劇元祖 革新團林聖九 一行毎日開演

大正館の新寫眞
義士劇第六編 武林唯七
の義士劇は今や興味高潮に達せり!! 益々出て益々好評
新派悲劇 誓ひ 三卷

日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六 有樂館
九月廿二日より特別大寫眞提供 ○實寫パテー週報 ○薄馬鹿大將の假想 ▲丁抹ノールディスク會社傑作 ○冒險活劇『死のダンス』全三卷 ○喜劇『九紋龍長次』全三卷 ○新派悲劇『神かくし』 ▲餘興 十一才の奇童 浪花節 吉田百々雀 おなじみの 吉田奈良子

補闕生徒を募集す
私立京城女子技藝學校
私立京城中等夜學校
南大門内（電話一七八九番）

惡疫の豫防に必ず二三粒!!
衛生口錠 カオール
自他衞生上一番安全である
●病氣見舞の時 ●人込群集の時
オリヂナル 發賣元 大阪 安藤井筒堂 東京 藤森[illegible]之助

◎放蕩から横領 熊本市新山[illegible]生れの松田辰[illegible]……一樓支店に登樓し娼妓[illegible]流連し無二……を附馬として四方八方引つ張り廻し……

課題及募集規程 ▲用紙は端書又は同……の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外……

天氣 晴れ一時曇り

京城圖書館の 商人の讀書

△特許會報や統計を讀む

◇南米倉町の京城圖書館には近來商人の閲覽者が殖えた、忙がしい商掛の人々が何を見るか、彼等は主に特許會報により專賣特許品を調べに來るのである、それに海外事情や、貿易統計表を調べに來る者も尠くない

◇毎年春の花時分と頃日の秋のお日和には本を讀む人が著しく減る　これは野に山に外出の人が多くなるためであらう

◇圖書館は山口精氏の個人經營で創立以來既に七年餘りになるがこれまで相應の閲覽者があつた

◇併し入齋者の多くは悠々讀書を樂しむ方の人でなく多くは官吏の受驗準備とか鑛山業の調査とか故鄕の新聞を見に來る人が主となつて居る

◇藏書は開館當時一千六百餘冊のものが現今一萬五千五百餘冊となり相當の部數になつて居る

◇山口氏は近く特志の會員を募集し大に設備を完全にして一般の人に便宜を與へたいと努めて居る追々によくなるであらう

京城神社祭典

十月一日午前十時より

京城神社にては十月一日午前十時より例年の通り朝鮮始政記念祭を執行すべく十時式典を開始し修祓、獻饌、玉串の奉獻、祭主の祝詞等に次いで政務總監以下參列諸員の參拜あるべく尚當日は今回新任せる氏子總代就任奉告式惡疫防止祈禱もある由

強い々々身體をつくれ

△憂ふべき國民體格の不良▽

◇現今歐米では個人衞生の進歩に連れて國民の體格は年々改善の氣運に向ひ從つて死亡率も減少しつゝあるに反し我國では却て出產率が減退し死亡者は年々增加し今後も劇增の傾きがある

◇殊に將來國家の中心となり國家活動力の源泉となる十五歳から二十五歳に至る年の死亡率は外國に比ると約三倍の多きに［illegible］年頭には我が日［illegible］三十八九歳の平［illegible］て居つたもの［illegible］に三十一二［illegible］なり瑞典が現今五十二歳の平均命數を有して居るのに比較すると實に非常な懸隔がある

◇また內務省衞生局年報に依り外國に比較して見ると毎年英國では千人中年に十五人瑞典は十三人和蘭十四人の死亡者があるが我國では年々二十二人といふ多數の死亡者を生じてゐる

◇其の他歐米諸國では高等の教育を受けた者ほど身體が強壯であるのに我國では教育のある人ほど孱弱多病である

◇全國の徵兵檢査成績を見ても判る如く大學出身者の徵兵檢査に合格するものは僅に百人中十一人とあつて中學出身者は百人の內二十五人小學の卒業者になると十人は合格する割合となつて居る

◇次に地方的偏重の無い全國の學生を網羅せる東京本鄕聯隊區司令部本年五月の報告を調べて見ると學生の體格は依然甚だ不良で學生三人集まれば其一人以上は近視眼で四人集まれば其一人以上は筋肉の薄弱者である

◇また我國死亡原因の大多數を占めて居る肺結核の如きも明治十七年頃には一年に死亡者が三萬人を超過しなかつたものが十年後の明治二十七年には倍數となり二十五年後の明治四十二年には四倍即ち十二萬以上の死亡者となつて居る

◇本年七月末の文部省報告を見ると我國學生殊に女學生の身長は最近の七箇年に四分より七分の增加を示して今後も增加の傾きがあるのは一見發育の優良を意味して居るやうであるが大切な胸圍と體量が是れに伴うて增して來ないのみならず却て年々減少の傾きがある

◇又陸軍省の全國壯丁受驗者の身長體重表を調べて見ると最近二十年間に身長は年々增加して居るが體重は却て毎年二十匁位づゝ低減して筋肉の羸弱した虛弱の體格に陷りつゝあるのを示して居ると

秋の男物

一般に澁い好み

◇秋の男物は先づ羽織では單衣ならば扶桑お召、山科お召と云ふ處で價は十六七圓代から十九圓前後、袷では金紗織とか都お召とか云ふ澁い好みが喜ばれます

◇地色とか縞柄は濃い判然したものが多く、黑地に茶のからみ三筋を配つたものとか、鼠の霜降地に紺の大名縞を利かせたるものなどが紳士用として品よく價は十二圓內外です。

◇著物の方で受けのよいのは藍瀨のお召などの柔かいしんなりしたものが當著の向きには商貴織とか八圓前後の紅梅紬か、ずつと下つては大島の染絣と云ふところでありませう

◇また長襦袢になると地は主に羽二重で若向きや意氣好みになると小波羽二重などがありますこれらは地色が薄茶地か澁茶で澁い絞を應用したものが多く襟は琥珀地か羽二重で色は着物の濃いのに對照して極薄く薄利久茶の樣なものが一番流行つて居ます

◇帶地では此頃一般に地紋の派手なものが受けられて居ますから、新製品の筑紫織の七八圓から十二圓位のものや、お召では輕裝帶と稱せられて居る六七圓の地紋を荒く浮き出したものが多く出ます

◇尚ほ兵兒帶になりますと相變らず喜ばれるのは縮緬地ですが、中でも金紗縮緬の其の縞に絞りを現はして青海波をみせたものとか、細かな總鹿の子を一面に縞風に出した品などがあります。そして色合は茶絲絞の澁向きや上品な向きには紺地の無地な白縮緬のしぼりの荒いものなどがあります、價は十五六圓代。

◇袴は地質はつゞれ、絹面袴地の二十二圓內外のものとか、玉つむぎお召の二十圓位のところで色合は矢張茶の薄いところや、鶯茶、薄茶の濃いがかつたところがはやつてゐますそして其の仕立は行燈よりもまち高の割合にまちの低い物がはやつて居ります。

宮本武藏

第百七十三回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

黑田家の重役も粂の平內兵衞の理解に依つて理の當然に服し、再度の懸合ひは斷念いたしましたが重役多胡內藏之助は一橋如見と昵懇でありますから甚だ殘念に思ひ、此復讐を相談いたしました、如見も無念骨髓に徹して居りますから之れも浪人組を集め評議をいたし時機を見て居りました、さて黑田細川兩家に於ては將軍の下知に隨つて九州へ赴く事に相成り十二月八日兩太守、登營の上改めて將軍家より上意を受け、お盃を頂戴して退出いだしましたが實に今度松平伊豆守再度の上使として九州へ下向するに就いて此兩家の責任といふものは重うございます、細川黑田が行きさへすれば原山の城は手もなく落ると女童に至るまで評判して居る位ゐ、若し城が容易に落ちず伊豆守に間違ひでもあつては上下へ面目が合はされぬといふので取分け細川越中守殿に於ては御心配なされ、下城早々家中一同を召して右の次第を申含め、歸國して原山へ取詰めたる上は萬難を排しても當家の手にて城を落さんければならん、何れも其心得にて出陣せよとの仰せ、家中一同承伏して御意に隨ふ旨返答に及び、直ぐに歸國の用意に及びました武藏も正名に於ても無論出陣しなければならん、依つて之れも支度をいたしましたが元より家中の面々一時に出陣する譯でない、追々に國許へ立歸るので、太守越中守忠利に於ては十二月三日江戸表をお立になり、家老畑中庵軍監として之れに從ひ其外須佐半左衞門、同樓之丞、長谷川仁右衞門、增田彌市右衞門などゝいふ重役何れもお供をして下向いたしました翌日黑田右衞門佐忠之に於ても江戸表を出立いたし、黑田三左衞門を軍監として重役の面々之に從ひ九州へ向いて下る、中一日置いて眼代松平伊豆守、戸田左門の兩使榊原飛彈守林丹波の兩目付之に隨つて下向に及ぶ、何れも大阪まで陸で參りまして大阪から船に乘つて豐後府內へ著き更に船で島原へ赴くので細川黑田兩家に於ては府內より分れて各々本國へ立歸り、兵馬の支度をいたし出陣をするのでありますから上使に先立つて下向いたしました、尤も本國に於ても非常の場合故軍馬の用意をしてありますから太守下向といふ事を聞くと直ぐに出陣の用意を整へ、途中まで出迎へた、中にも細川家の長岡監物、黑田家の黑田睡鷗などは老功の人でございますから萬端手脫りなく用意をいたしましたから太守御歸城になると直ぐに軍令を出して出陣に及び同月二十四日には島原の陣へ到著いたし板倉內膳正に面會に及び、上使到來の旨を言達に及びました、內膳正に於ても豫て京都の兄周防守より使を以つて上使再遣の旨を告げて遣した、此書面を見た時に重昌に於てはモウ討死の覺悟をして居る、自分は小身ながら將軍眼代を仰付かり、遙々九州へ下向して原山の城を攻めるに、運拙なくして毎度の合戰に味方敗北いたし、殊に旗下に從ふ大名何れも板倉を侮どつて其下知に從はず、依つて疾より切腹いたす覺悟、所へ亦々內膳が下知宜しからずとあつて上使再遣の趣、何面目あつて生長らへん、此上は潔よく討死を遂げ、恥を雪め名を完ふせんと決心をいたしましたのは氣の毒千萬兄重宗の許へは鬢の毛少々肌守等を遺品として送り屆け、尚召連れまじた子息主水祐にも遺言をいたし一夜明くれば寬永十五年一月元旦、一枚の紙に筆も新らしく、

『去年の今日は江戸城にて烏帽子の緒を締め今年の今日は島原にて甲の緒を締む、

『あらたまの年の初めに散花の名のみ殘らば先がけと知れ

と一首の和歌を認めましたが之は辭世の意と見れます、未だほのぐらき朝霧の中より板倉內膳正重昌に於ては自分一手の軍勢を以つて城に取詰め、遂に一發の銃丸に中つて悲壯なる討死を遂げましたのは無慘といふも愚かの有樣、板倉の家人赤羽源兵衞、北川又左衞門を初め、名ある勇士大半討死を遂げ子息主水祐も手傷いたしました、一揆は內膳正殿を討取つて其勢ひ益々盛んの有樣。

婦人界消息

△三好孝子（南大門小學校訓導夫人）廿七日男子分娩、お名前は啓男

●善隣商業運動會

龍山善隣商業學校にては來る十月十七日神嘗祭の佳節を卜し同校々庭に於て秋季運動會を開催の豫定

●柴崎校長滿洲行

京城中學校長柴崎鐵吉氏は二十七日附旅順大連撫順奉天及び長春へ學事視察の爲め出張を命ぜられたり

●大橋主幹歸京期

赤愛會朝鮮本部主幹大橋次郎氏は豫て西鮮地方の事務視察中のところ一兩日中歸京の筈なり

神社とお寺と教會

○東本願寺（南山町）三十日午後七時より土曜講話あり、翌日一日午後七時より信友會の講話あり

番茶のあと

龍山の善隣商業學校では靴や下足のまゝであがることをお斷りして居る△そして廊下から教室から床板は毎日先生と生徒とで雜巾がけ掃除をやり非常に清潔である△昨今はまた消毒液で清めて居るから非常に氣持がよい

回かつを煮とり　鮮魚を三枚にして堅く蒸して木目なりにむしり置き鍋に酒とみりんと醤四分六分に（味淋を六分）入れ煮立て古生姜を細かきせん切りにしたるを入れてかつをを入れ落ぶたなして中火にて暫時煮つめ醬油をさし汁の無くなるまで炒る（青木はつ子）

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會前
安部醫院　電話四一九番

盛花家元　京城明治町本通　宗匠　春道齋
當分遠方の出教授は申込を斷ります

十月一日　九紫　舊九月五日　辛未　本命八白　長開先勝

［illegible］

入院隨意　京城南大門通三丁目（藤木商店橫入る）
胃腸病院　電話六五九番
院主　佐々木杏造

山縣五十雄　村上唯吉共著
富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢
京城日報社代理部

商況

東京株式特電

［illegible］

債券現物特電

［illegible］

東京公債直取引

［illegible］

深川在米特電

［illegible］

東京期米特電

［illegible］

大阪株式特電

［illegible］

大阪三品特電

［illegible］

大阪期米特電

［illegible］

下關期米特電

［illegible］

雜報

●正米稍強し　多少鮮商側の人氣を刺戟

［illegible］

供給を仰ぐ慶尚道方面より

［illegible］

引締め眼先尚は一段の

［illegible］

●平板は缺乏

［illegible］入荷望難き［illegible］

●一圓以上

［illegible］

●罐詰類拂底

［illegible］

十錢　俄然五圓七八

［illegible］

四五圓方の暴騰

［illegible］

●北海新豆買控

［illegible］

白斤十六圓見當

［illegible］

●利尻昆布引下ぐ

約六圓方の暴落

［illegible］

●洋釘一部割安

多少値段の引下

［illegible］

●鐵物益好況

更に一圓高

［illegible］

下關相場

［illegible］

各地商況

［illegible］

京城正米

［illegible］

南大門の廻穀

［illegible］

仁川現物市場

［illegible］

釜山市場

［illegible］

仁川期米

▲二十九日前場　大阪天候曇天

前寄十四圓〇九錢　六錢高の入電二節十一錢と小高き移［illegible］九十三錢と續いて安移り［illegible］九十九錢と安移［illegible］〇五錢七節十三圓　大阪六節

［illegible］

▲受渡し高

［illegible］十二圓八十錢［illegible］以つ納會

［illegible］

▲臨時增證

［illegible］

▲當限納會す

［illegible］

▲能く賣る

［illegible］

▲大に買ふ

［illegible］

▲能く買ふ

［illegible］

▲穩て買ふ

［illegible］

▲大に賣る

［illegible］

人氣頗る沈靜

［illegible］

▲掉尾の活況

［illegible］

市場零聞

▲前場小變動

［illegible］頓挫を來し［illegible］大に警戒を加へ［illegible］

▲前場の手振

［illegible］

仁川米豆取引所

廿九日の七一月限

［illegible］

小賣白米

［illegible］

白米標準値

［illegible］

總裁大隈伯爵閣下——博士大家四百六十名署名執筆

日本百科大辭典

第壹卷より第七卷まで 短期特價販賣

=(內容見本は全國各書店に在り)=

日本百科大辭典は、我國出版界の一大偉觀にして、實に現代文獻上の一大產物、空前絕後の大著作なりといふべし。

之を彼の英・米・獨・佛の百科辭典と匹敵して、毫も遜色あるなく、眞に國家的辭典たる價値を有し、萬卷の書籍を藏するよりも有利にして至便なる文庫たることは、朝野一般の確認する處たり。

編輯着々進行

此の貴重なる文獻の一大寶典も、一時經營者の事情により中途にして編輯を廢するの止むなきに至りしが、「斯る國家的事業を中道にして廢絕に歸せしむるは、洵に學界の不祥事なり」とて、大に識者の憂慮する處となり、兩岩崎家・井上周氏・石川照勤氏・原富太郎氏・德川賴倫侯・神田鐳藏氏・久原房之助氏・山口吉郎兵衛氏・藤田男・吉川男・兩三井家・澁澤男・廣岡惠三氏其他有志の出資協贊せらるゝあり、又同情ある學者諸氏の有力なる一團を作りて援助を與へられたる結果、日本百科大辭典完成會組織せられ昨年以來事業を再興し、今春第七卷の刊を行了し、本年十二月又將さに第八卷を公にせんとす。

洵にこれ我國文化の精華を世界に示すものにして、國家文明の一大福音と謂ふべき也。

全部十卷(本文九卷 總索引一卷)=七卷既成(四六倍判總革製 天金背付)

提供部數 各卷五百冊

特價期限 十月十日

正價 金九拾壹圓(各卷金拾參圓)

特價 金六拾參圓

送料 各卷(市內…無料 地方…金四十八錢 朝鮮・臺灣・樺太・支那…各卷…金七十錢)

(五卷・六卷・七卷には五百部以外に餘分の製本あり。從來購讀者中缺本ある諸氏に對し 特價金拾圓を以て賣る 冊に限る。)

本書があらゆる階級の人士に愛藏せられ、無限の需要に應じつゝあることは、現に既往數年間に、巨萬の部數を販賣し盡したるに徵して、これを知ることを得べし。しかも本書は、印刷・製本に特殊の技能を要する點少なからざるを以て、增刷・再版をなすこと容易の業にあらず、爲めに世上の需要に對し、久しく品切を餘儀なくせり。斯くの如きは國運隆興の今日に於て一大恨事たるを以て、今回諸般の準備を整へて之を增刷し、五百部限り特價を以て之を江湖に提供せんとす。

此の提供たる、無限の需要に對し極めて最少部數に過ぎず、若し諸君にして此の機會を逸することあらんか、今後再び本書を獲得すること絕對不可能なるべし。何となれば、更に本書を增刷又は再版することは、諸般の事情に鑑みて近き將來に之を望み得べからざればなり。本書の價値の洪大無邊なるを知り給ふ諸君子よ、願くは此の機會を逸することなく速かに申込あらんことを。

=(今日只今內容見本を要求あれ)=

發賣所 東京神田 株式會社 三省堂 電話本局七二二・一七四九 振替東京三一五五五

英和辭典の理想に茲に實現せらる

父兄諸君!!! 短期特價大提供

子弟に辭書を與ふるに際し第一に注意すべきは其內容の選擇に在り

(製本既成 全國各書店にて販賣す) 特價期限 十月廿日限り

井上十吉先生著 井上英和中辭典

縱五寸 橫二寸五分 總クロース 特製携帶至便 ナンペル活字 紙數千四百餘頁 假名付印刷鮮明 挿畫五百餘個 定價壹圓參拾錢

◎特價壹圓拾錢 郵送料金八錢 ▲內容見本 全國各書店に在り 御申込次第進呈す

◎九月十日迄の御申込分九月十八日全部發送濟

本書發行の豫告出づるや一度英學界の人氣沸騰し註文激增 第壹回若手貳萬部は忽ち賣切れ 急速第貳回着手の盛況を呈す 即決即斷御申込あれ

初等の辭書は特に正確なるを要する理由

初學者には初學者の辭書を要す。而して初學者に在りては微細の印象も直ちに確實なる知識となり、其の間に判斷辨別の餘地殆ど之なく、一度先入主となりたる觀念は容易に之を拔く可からず。故に初學者の用ふる辭書の正確なると否とは、知識の吸收及び思想整理の上に甚深なる影響を與へ、終に學力の優劣を生ぜしむるに至る。世上の父兄諸君が子弟に辭書を與ふるに際しては、特に此點に注意して其最も優秀完全なる者を選擇せざるべからず。

本書の眞價と特徵

理想的初等英和辭書の完成

井上先生茲に見る所あり。先きに英和大辭典を編むに當り努力の一半を常に本書の材料蒐集に注ぎ、數年の時日を費して茲に本書成れり。最も平易にして而かも正確に、最も簡單にして而かも語の選擇其宜しきを得たり。而して同型の辭書中內容最も充實す。

中等英語教科書中の語句の網羅

全國各中等學校採用の教科書中の語句は一も之を漏らさず、一語一語眞に初學者の必須缺くべからざる者なり。

豐富なる特色の一斑

譯語は平易明快にして、正しく且つ精し。◎重要なる熟語慣用句は凡て之を網羅す。◎語に伴ふ前置詞の活用は凡て之を明解せり。◎略語、外國語、重要なる固有名詞は本文中に排列して詳解せり。◎文法上の說明殊に懇切にして、動詞、形容詞等の不規則なる變化は之を本文中に指示して周到を極む。◎新語を豐富に收蒐して新聞雜誌の繙讀に便ならしむ。◎附錄として文法上の略解、接頭語、接尾語、固有名詞、クリスチャンネーム、度量衡等十三項約百頁を收む。◎難讀の漢字には凡て振假名を施したり。◎文字のみにて到底說明を盡し難きものは鮮麗巧緻なる挿畫を加へたり。

英語發音と日本假名との融和

特に發音に至つては、有らん限りの注意と苦心とを用ひて凡て日本假名を以て之れを表はし、正確にして完全、而かも煩瑣に失せず。日本假名と英語發音とは本書に於て始めて全く相一致したれば、初めて英語に接する人とても直ちに正しく發音するを得べし。これ實に假名發音の理想に到達せるものにて、現代英語界のオーソリチーなる我が井上先生の手を待つて始めて成就せられたる語學上の一大功績なり。

本書の價値

要するに本書は初學者の辭書として完全無缺の域に達したる者にて、初學者は何人も本書を備へざるべからず。講師も之に徵くべく學者も之に諮るべく實務家も之を度外すべからず。

井上十吉先生著 井上英和大辭典

◎紙數(本文二千三百廿六頁 附錄十頁) ▲語數實に貳拾萬語 ▲縱五寸六分橫三寸一分 ▼特價提供 五萬部限 特價金貳圓廿錢 定價貳圓五拾錢 郵送料金拾貳錢

▽全國中等各學校にて指定辭書とせられ名實共に類書に傑出す

公明なる世評一斑

▲東京朝日新聞曰く 英和辭書中語數の豐富と譯語の妥當と熟語文法の各方面に於て殆ど遺憾なしと稱せらるゝ井上十吉氏の「井上英和大辭典」は氏が多年の經驗に顧み綿密周到自ら編成したる所なれば氏の力量を知る者は亦本書の內容に大なる信用を置くに足る…從來の英和辭書に比して遙に其頭角を抽んでたるもの斯界の新光明と稱すべし

▲大阪朝日新聞曰く 印刷非常に鮮明にして近時出版界の辭書中稀に見る者

▲大阪每日新聞曰く 特に其の新語に至りては現時の世界大亂によりて生じたる新文字をも收めたれば他の辭書によりて得ること能はざる最新知識の缺陷を遺憾なく補ひ得……要するに既刊英和辭書中にありて最高の權威を有ふに足る

內容見本 御申込次第進呈す

東京市日本橋區本石町 至誠堂 振替東京一七

經濟大辭書

現代經濟學大家百十二名各項署名執筆せらる 總紙數四千五百餘頁 六號組三段語數二万五千

國家學會雜誌批評 福田博士の名を以て公にせられたる本書は本年四月其全部の刊行を終つた。內容は西洋に關するものは福田博士主任となり本邦のものは內田文學博士東洋に關するものは官私の經濟學者それ〴〵署名して其の執筆の責任を分ち各項目には英佛獨の原語を各項の終りには一々參考書を揭げてある蓋し本邦に於ける經濟界空前の出版物と云ふて差支ない……

經濟論叢批評 我等の如き學究が研究するに就ては原書に就て面倒なる調査を爲す義務ありと思ふが實際の局に當る政治家、行政官事務家、新聞雜誌、記者等に於ては一々原書を詮索するには及ばない手つ取り早く譯書を播いて會得すれば足るのである。特に經濟に關する書物といふても一と通り備へやうと思へば幾十種を要する本書の如きは殆んど全體の經濟に亙つてゐるから他の幾十種の物の代用たらしむることが出來る

東洋經濟新報批評 學界に寄與するといふ犧牲的精神から生じた努力と熱誠とに依らずんば到底今日に此大刊行物の完成をば見得なかつたに相違ない。編輯者の苦心もさる事乍ら就中吾輩は計算を離れて堅忍不撓飽くまで初志を貫徹した同文館主の意氣と見識に充分の謝意と推重の意を表する併して今日に之を得た事は此種大部物の先驅を作つた意味だけにも確かに社會に向つて誇るに足らう…

ダイヤモンド批評 本書は去る明治三十四年同文館に依りて計畫されたる大日本百科辭書第一期事業最後のものとして發刊を見たる也歲月を費す事實に十有余年執筆者は孰も當代第一流の篤學者にして事苟も經濟の一德目に入る者は悉く之を網羅し之に最新の學理と親切なる調査とよりなれる論說を與へたるものなれば本書出で茲に吾が經濟學界に始めて羅針盤と燈明臺とを得たりと云ふも決して過言ならざることを信ず……

內容見本進呈 送料二錢

クロース製 金九冊 背皮合本 全五冊 定價 五拾四圓

特價 參拾貳圓(クロース製九冊一時拂) 參拾四圓(背皮上製五冊一時拂)

分回拂の方法は內容見本に詳記しあり無料進呈

殘部僅少本日直ちに申込あれ 賣切後は斷じて定價に復す

東京神田 株式會社 同文館 振替東京一三五 電話本局四三六七七

中學講義錄

中學全科を自宅にて完全に獨習せんとする人に最適せるは大日本國民中學會發行の中學講義錄也とは定評の存する所殊に文部・陸軍・遞信三大臣の賞讚を受け今亦高田文部大臣の推獎を辱うせり

大日本國民中學會發行中學講義錄は學習院道灌山文學博士山內理學博士案出の斬新通信教授法により最少の時日にて中學卒業の實力を授け講述親切平易何人も難解の憂なく師に就て學ぶと同一也

大日本國民中學會卒業生は都下三大學各專門部特科に無試驗入學の特權を有するのみならず成績優良者には學費を貸與し高等專門の學校に入らしめ更に技能の成績ある者は海外に留學せしむ

◎第廿六回新學期開講 此際入會者に獎學資金提供の大特典あり此好機を逸せず至急申込あれ見本つき規則書は東京市神田區駿河臺大日本國民中學會へ申込次第直に無代進呈す

習字速進法

習字帖見本付 會則無代進呈 此際入會の者に限り大特典あり入會の好機を逸する勿れ

東京神田駿河臺鈴木町 電本局四八四八 大日本習字速進會

京城日報
十三日朝刊（夕刊と合せて八頁）

[illegible]

支那政局險惡

京城日報

[illegible]を盟主とする、十三省同盟會[illegible]徐州に於て開催され、國會彈劾[illegible]危險なりとし、飽[illegible]に反對し、南方出身の[illegible]要求の容れられず[illegible]解決を爲さんとするの勢[illegible]日に益々險惡を示し來り、此儘[illegible]られ、支那の政局[illegible]眼動の如き、既に出兵の準備[illegible]南方派は、內閣の總辭[illegible]政府と會國は、遂に衝突[illegible]流たる政戰の、開始せられ[illegible]最早避け難きの觀を呈せり[illegible]機をして、漸次に進展な[illegible]は、唐紹儀の入閣拒絶に[illegible]因て支那政界の、到底無[illegible]げざるを暗示したり。[illegible]出身の、各總長等と、對北[illegible]重鎭唐紹儀の天津に來つて[illegible]るや、段國務等を背景と[illegible]督軍團の徐州會議は開催され[illegible]別に國民公會なるものを組[illegible]倒閣運動を試むるあり。一[illegible]唐紹儀は斷然入閣を拒絶する[illegible]唐の排斥を開始するに至り、形勢、益々錯雜險惡となりしり。唐の入閣拒絶は、其の[illegible]に於ては、徒に時局の紛糾を招[illegible]にあるも、事實は此の際に於[illegible]の妥協を試るは、却て北方[illegible]に陷るものと云ふ可く、唐[illegible]而せざれば、孫內務、谷農[illegible]等南方出身の各總長も、[illegible]袂辭職するに至るべし。[illegible]內閣は更に苦境に陷るべ[illegible]務にして、北方派を以[illegible]充し、容易に內閣の明[illegible]ずんば、南方派は國會[illegible]倒附して、益々苦境[illegible]。內閣亦或は、國會[illegible]事あらんか、南方[illegible]て、第四の革命亂[illegible]られざる也。而も[illegible]、黃興、岑春煊[illegible]と觀破し、各々[illegible]とし、竊に[illegible]あり。尚ほ[illegible]議に對抗し[illegible]運動を開始[illegible]力派と云は[illegible]黨を樹て[illegible]

鐵自給策と製鐵所經營（七）

經濟研究會に於ける　押川製鐵所長官口述

製鐵事業の副產物

最後に製鐵事業の副產物に就て少し申上げて置きたい、製鐵事業に伴ふ副產物は中々多い。聞く所に據れば外國の製鐵所では鐵價の高低の甚しい結果鐵だけでは損をすることがあつても、副產物で全體の利益を得ることがあるさうである。日本などへも外國より往々非常に安い鐵が來るのは其等の關係に因るものであらう。製鐵所の副產物も種々あるが其の產額は年に百萬圓以上に達する。先づ第一番は肥料に使ふ硫酸安母尼亞を造るのだが或人は製鐵所が肥料まで造らんでも宜いではないか、之が爲め肥料は安くなつて困ると言ふがコークスを製造する際に石炭瓦斯から安母尼亞を造らんければ唯だ無駄に廢たるのであるから、誰も利益せず、それ丈け國家が損であるから、製鐵所の經濟上の必要からしても之を製造して居るが、之は石炭瓦斯中に安母尼亞を含んで居るから、それで製造するのである。其の爲めに硫酸も製造する、此の硫酸は運搬が非常に困難であるから、他から持て來れば自ら製造して居る譯であるが、硫鐵鑛で硫酸を製造し、滓は溶かして使ふのである。次には石炭からコールターも出來るが、其の殘りのピッチは海軍が德山で無煙炭に混せて煉瓦を造つて居る。今日は瓦斯會社等が各所に出來たので自然ピッチも豐富な譯であるが、少し以前までは無かつたので、明治三十七八年役の時には製鐵所は海軍の要求に依てピッチを製造して供給したのである。今日製鐵所の製るピッチは主として海軍に供給するのであるが、尚此の外に油にも需要がある。ナフタリンも出來るので、民間に拂下げて居るが、ナフタリンは單に防腐劑である計りでなく染料にも最も必要である。併し以前から之は染料の原料として拂下げて居たのでなく專ら防腐劑の原料として拂下げて居たのである。又今年の暮からベンゾールを造る考であるが、之は昨年の議會で成立した染料會社の原料に供給する譯であるが、其の他火藥の原料も製る。斯樣にコークス製造に伴うて重要なる種々の副產物が出來る。今日獨逸の化學工業が非常に進步して盛んであるのは、實に獨逸に於ける製鐵事業の副產物に俟つものが多いと思ふ。即ち其の化學工業の原料は殆ど皆製鐵事業の副產物であつて、言ひ換ふれば製鐵事業が興らなかつたならば獨逸の化學工業が盛んになるべき材料がない譯である。

朝鮮の古城郭（三）

八木奘三郎

（一）城郭とは何ぞや

（承前）次に日本にては城郭を如何に呼びしやと云ふに、古語には之れを『キ』と云へり其解釋は諸書に見へたれども、先づ手近の分として、小島知足の館中清話中に載せたる記事を左に擧ぐ可し。

城。近世城の字を『シロ』とよむは訛なり、城を古は『キ』と云ふ。葛城、磐城の類これなり。中世は音にて『ジャウ』と云ふ。秋田城介などの如し。足利家時代の書また謠本には、みな『ジャウ』と云ひて『シロ』と云はず。シロと云ふことは山城にかぎりたることなり。山城の國はもと山背の國とかきしが桓武天皇の詔に、山河襟帶如城と宣て、山城と云ふ字に改められて、その唱はもとの通り、山シロと云ふべきよしなり。故に城の字にシロと云ふ義あるに非ず、古くはかくの如く文字と唱と別なることあり。後に文字を作りあてたるは、みな然り。播磨を『カムモリ』今かと唱ふるが如くなり。

とあり、官名などの唱は本よりあり。小島が城をしろと讀みしは山城に限りとの說は多少議論の餘地ある可し、然れども桓武時代に於いては無論城字はキと稱してシロと呼びしは類例なかる可く、又た或人の如きは山城の地名すら音讀せしならんと唱ふるものあり、其の可否は姑く論ずるの要なけれども、何にせよ日本にて城字をシロと訓みしは割合に後世のことにて、古音の『キ』なることは動かざるなり、而して何故城を『キ』と稱せしやとの問題は簡單に言明し得ざれども、日本にては古代城郭の外、柵塞、棺槨の類をも亦『キ』と稱せしことは諸書に見えたり。次に朝鮮の例を曰んに、當國の城に對する古言は傳はらず、然れども日本の古書によれば之を『サシ』と呼べり、而して現在語にてはセン Sent と綴れる例あれども、其實スソン若くはションと聞ゆて容易く本音を寫すこと能はず、諺文にては잣と記すれども、是とても口移しに擧ばざれば用を爲さず、又此スソン若くはションはサシより轉化せしや否や不明なれども、特を Tchaik と云ひ、柵を Tchaik と云へる由なれば、サシと云ふも其實讀の成を朝鮮にて訛り、更に之を日本にて訛りしまでにて、根源は漢字の城字を音にて呼びしやも圖られざるなり、又郭はクワクなれば日本の漢音と異ならず（此項未完）

咸南一日の遊（一）

中島生

夜座虫聲

皇靈祭と日曜と二日續きの休日に山縣政務總監の元山行となりたれば二十二日の夜記者は總監列車に陪乘して南大門を發せり。政務總監の一行は大星鐵道、池田遞信、宇佐美內務各長官、秋山參事官、三本鐵道局理事、藤波通譯官、遠藤秘書官其他隨員若干。龍山を過ぎて往十里清涼里と數ふる頃は人影次第に寢室に消えて、電燈の明光徒らに空室を照らせるのみ。京城にては虎疫の侵入に全市人心恟々殆らにツエッペリンが倫敦を襲ひたらん如き騷ぎを餘所に見て、元山行などゝは社中同人に對しても聊か憚ある仕業ながら、役目は致方なしと恐縮罷在る次第也。此夜空少しく曇りたれば、窓外黑闇々、何物をも捕捉する能はず。夜半眼醒むれば、列車は半島の[illegible]として機關車の[illegible]夜氣漸やく冷かに[illegible]排すれば懸瀑水の如く流れ入る。釋王寺驛に來れば、天幾か明けて萬象漸やく視界に入る。黝黑の山丘長く連亙して松林欝茂し、風光凡ならざるを見る。過ぐる所釋王寺、南山、安邊、總て安邊郡に屬し土地平潤にして稻穗垂るなり。總監を出迎へて同車せる咸鏡南道長官は、記者を捉へて頻に咸南の產業を說いて已ます。聞く[illegible]くんば此附近の稻作は稀有の[illegible]にて、畦畔到る處[illegible]溢れけりとぞ。

日報詩壇

○園居夏夜　齋藤　三寅
薰風涼似水。日落暮鴉歸。荊籬蓮葉。微雨家雞上竹扉。閒吟求雅趣。飄然總樹飛。破愁圖。忽見螢三四。
評曰　爽氣滿于紙上

○江亭即事　森下　半狂
柳下孤亭枕水流。晴風靜竹影幽。酒杯又發吟哦癖。底事悠然似白鷗。
評曰　幽靜

○題觀瀑圖　栗原　華陽
千尺懸泉落作淙。微遊有客試吟腔。聲來晉亦魂飛躍。何只仙山倚杖邊。
評曰　風神瀟灑

○涼棚新月　高田　小芥
惜前醉月將落。綵翠一閃寂湘篁。深更不識坐棚樣。諧和風涼動將。忽徽涼吹動向新秋。萬波心一葉落[illegible]擧[illegible]驚[illegible]起臥不知愁。
評曰　清婉

○同上　園山　牧雲
浦口臥清風。停棹看月中。荷花香處。夢到廣寒宮。
評曰　飄飄欲仙

○秋草　高田　小芥
織芽皮纖著花鮮。葉落花凋了俗緣。有性猶不枯死。寂寞結實臥階前。
評曰　飄託有餘

日報歌壇

須古優利花（京城）

三味線の絃より細き秋の雨虎斑の石にさゝやきて降る
うす紅にすゝきひともと立てる野に初秋のかぜしのび來たりぬ
夜の寢ざめにこほろぎ鳴けり其のひくき純なる音にもかなしみのわく
冷やゝかに涙の如く水はしる一ひろ幅の秋の川水
砥に似たる川の水底を光る鮮魚十ほどのみわて秋の日くれぬ
病院を出でゝ並木の坂を行く我が袖を擦り飛べる馬追ひ
音をなきてひそみし虫もとびたてり並木の坂の青き秋の陽
萩咲けば秋風吹けば去秋の母はかなく戀ふる日のみつゞけり
しみ〳〵と物の哀れをしらしめし去秋の秋かぜ歩にそゞろく
年逐ひに踊らず萬萩咲きそめぬ父と子らとの秋風の家

西田順一先生　岡崎龜三郎先生　小山憲次先生　共著

だれにもできる電氣工學

廿世紀の文明は電氣の文明なり、殊に電氣を自由自在に應用し驅使して吾人日常生活の簡易と敏活と便利と幸福とを增進するの文明なり、電氣及電氣器械の取扱を以て專門技術者の事とするの時代は既に過ぎたり、電氣は今や一般人が意の儘に之を使用すること、水道の水を使用するが如くならざる可らず、本書は實に其方法を指示する者也

早稻田大學教授工學博士坂田貞一先生序
誰にもできる乾電池及濕電池製作法　挿畫五十餘個入
電氣を研究し應用せんとする者は先づ電池の事を知らねばならぬ。本篇は先づ電流の發見より說起し、次に諸種の濕電池の構造及製作法を述べ、更に進んでレッシングBCE、屋井、件、其他世界優秀の乾電池製作法の一般を述べ、加ふるに簡單なる材料を以て家庭に於て乾電池を製作するの方法を示す。本篇を一讀すれば、誰でも自由に各種の電池を拵へる事が出來る。

早稻田大學理工科主任山本忠興先生序
誰にもできる電鈴製作及其取付法　挿畫六十餘個入
文明の家庭として、應接室に、客室に、苟くも中流以上の家庭として、若し電鈴を設備せざる者があるとすれば、それは甚だしき時代後れと謂はねばならぬ。本篇は電線の選擇法、架線法、其他電鈴に關する一切の知るべき事項を網羅して親切丁寧の說明が加へてある。本篇を一讀すれば、誰でも容易に各種の電鈴を思ふまゝに製作し、且つ思ふ儘に取付ける事が出來る。

遞信省技師工學士山崎德三郎先生序
誰にもできる懷中電燈製作及取扱法　挿畫五十餘個入
手提電燈、卓上電燈、自轉車電燈、行列電燈、便利で愉快で美術的な異種異樣の電燈が發明されて、夜の世界に於いて我々の利用を待つてゐる。一般社會がまだ十分に之を利用するに至らぬのは、畢竟其簡易なる製法を知らぬからである。本篇は最も簡易に是等諸電燈を製作するの法を示してゐる。本篇を一讀すれば誰でも直ぐに望みの儘の獨立電燈を拵へる事が出來る。

工學士河崎範一郎先生序
誰にもできる蓄電池製作及其充電法　挿畫一百餘個入
蓄電池の勢力は今や電氣界を風靡してゐる。蓄電池は其の製作法が簡易で、而も其の勢力が絕大で、而も其の費用は乾電池の百分の一にも足らぬ。之を十分に利用する事を忘れてゐる社會は誠に莫大の損失を爲して居る者である。本篇は此の至便至廉なる蓄電池の製作法及取扱法を示したもの。本篇を一讀すれば、誰でも譯なく此の大利益を自己の所有とする事が出來る。

中央電話局長工學士西脇吉久先生序
誰にもできる簡易モートル製作及取扱法　挿畫六十餘個入
簡易なるモートルは實に誰れにでも出來るものである。本篇は机上電燈、自轉車電燈、玩具用モートルについて多數の分解圖を挿入して其の製作法を說明してゐる。本篇は又一般モートル使用者の爲に、各種モートルの製作法及修繕法を懇切に說明してゐる。故に工業家は本篇に依りて常に自由に其モートルを維持する事が出來る。本篇は又諸學校の手工科に應用する事が出來る。

中央電話局長工學士西脇吉久先生序
誰にもできる電話機の製作及通話法　挿畫六十餘個入
電話の原理及電話機の製作法は敢て甚だしく困難なものではない。只それを平易に說明した書物の無いが爲に今日まで私設電話の普及が遲々としてゐる。誠に嘆はしき次第である。本篇は電話の原理より器械の製作、架設通話の方法材料買入の手續に至るまで、極めて詳細に而も明瞭に平易に說明してある。本篇に依れば、何人でも最も經濟的に私設電話の便宜に浴する事が出來る

送費　東京市內金四錢　地方金拾貳錢　支那、朝鮮、臺灣、樺太、各金四拾錢

定價　金貳圓五拾錢　五千部限り　特價貳圓二拾錢

發賣所　東京市京橋區南傳馬町一ノ一　目黑分店　振替東京一三三五七番・電話京橋二七四九番

大正五年九月三十日[illegible]外八點[illegible]遞信局

簿記生徒募集　短期卒業　卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す　規則書要二錢　京城明治町二丁目　京城簿記專修學舘

溫泉旅館　京元線釋王寺溫泉場　鶴松園　今や松茸狩の好季節

新刊書御案內

書名	著者	定價
◎應用家庭醫學	羽太鋭治	四、七〇
◎鮮國研究	教育學術研究會	一、〇〇
◎世間學	浪六	九五
◎受驗必携朝鮮行政法規大意	安達大壽計	四〇
◎朝鮮行政法規大意	同	四〇
◎受驗必携朝鮮高等法律問答	朝鮮行政研究 阪上網吉	四〇
◎法律講義	阪上網吉	特七〇
◎立志奮鬪	森村市左衛門	一、〇〇
◎中心讀方教授の實際案	上小林源治	九〇
◎國文口譯萬葉集第三編	折口信夫	一、五〇
◎第二編大鏡	芳賀矢一	一、五〇
◎時は過ぎ行く	田山花袋	一、二〇
◎うき身 上卷	柳川春葉	一、四〇
◎日本美術譯話 五版	黑田鵬心	特一、八〇
◎實驗行刃民間療法	伊藤尚賢	一、〇〇
◎紅夢集	長田幹彦	九五
◎以呂波引漢字のくづし方	[illegible]	三五
◎菊花培養大觀	千葉晩香	五〇
◎時價評附和漢古錢通完末脫網	奧齊	四五
◎家庭園藝百話	千葉晩香	三〇
◎布石攻合圍碁必勝法	廣瀨平治郎	一、〇〇
◎誘試資料	吉川寅九郎	特四〇
◎劍・背 外十篇	谷崎潤一郎	九五
◎基礎健康法	日比野寛	五五

大阪屋號書店　京城本町　電話六八四・二〇八六　振替京城一五七三

簞笥、鏡臺、家具、製作販賣（御注文により御好調製可仕候）　京城本町四丁目（電車停留所前へ入る角）　津村簞笥店　電話二六七〇番

◎書籍案內◎
稻田一作　伯爵銀次　滿蒙處分論　國民の年鑑 上　理想の家庭　假名貞觀政要　撞球指南　富の道しるべ　致富の要訣　過去の罪　妻　村法規提要　朝鮮語會話　書畫家列傳　世界の變局　山水隨緣記　吉田松陰

京城太平通壹丁目　京城日報代理部

辭意決行如何
某閣員は斯く語る

……に關し閣員の意……ざるもの〻如く其……に依れば予は此……挂冠すべしと信ずる……の間には此の事に關し……せを爲したるが今日迄……首相より何等の通告を……以て飽迄事實無根なりと……又世上首相對寺……内伯との交渉既に斷絶せる如く信じ居るものあるも予の知れる範圍に於ては表面打切りの如き姿なるも其の裏面には猶一縷の命脈を有し居れるを以て此の解決を爲さずして唐突として辭表を捧呈すべしとは到底信ずる能はず云々』

山公入京

入京の豫定なりし山縣公は一……り上げ二十九日午前九時小田……自動車にて入京同十一時四十……目白椿山莊に入れり之より先き……東助子は椿山莊を訪ひ公の入京を待ち受けたるが著後間も無く小松原英太郎、安廣伴一郎の兩氏來訪せり（東京特電）

◎松方公の入京

松方侯は元老會議列席の爲め二十九日朝入京せり（東京電報）

◎支那政界動搖の兆
國民黨一派の閣員總辭職を唱ふ

唐紹儀氏の辭職は恰も路上に投ぜられたる爆彈の破裂せざるにも比すべし國民黨一派の内閣員は之を動機として總辭職を爲さんと唱へつ〻あるも唐氏は之を抑止しつ〻あり唐氏は尚ほ二週間天津に滯在の上上海に歸りて國民黨の結束に努む可しと今後の形勢如何に依りては或は湖南廣西の獨立を稱ふるに至るやも測られず（北京特電）

●張督軍の勸告●

張督軍は長額子日支兵衝突事件の交渉を迷かに解決するの利益なることを孟吉林督軍に勸告すべく二十九日朝二十七師唐旅團長、顧問菊池中佐を吉林に派遣したり（奉天特電）

◎希臘戰鬪艦參加

希臘戰鬪艦三隻聯合軍艦隊に參加せり（倫敦電報）

◎ソンム方面激戰繼續

二十六日發表ヘイグ將軍の公報に曰く、ソンム及びアンクール方面に於て激戰繼續され我軍は到る處勝利を博し四十八時間内に三千乃至四千名の捕虜を獲得したり又英軍はフォールクラペーの方面に前進せり（倫敦電報）

●殿下露都御著●

閑院宮殿下隨員より二十七日發宮内省に電報到著せるが殿下には二十七日午後三時露都に御安著遊ばされたりと（東京特電）

◎行賞追加發表

大正三、四年戰役の行賞追加として二十九日發表ありたり内主なる者左の如し（東京特電）

内閣書記官長從四位勳二等　江木翼
賜金二千圓
叙勳二等授瑞寶章（各通）
海軍少將正五位勳三等功四級　森越太郎
海軍少將正五位勳三等功四級　船越楫四郎
農商務省山林局長正五位勳四等　岡本英太郎
滋賀縣知事正五位勳四等　池松時和
叙勳三等授瑞寶章（各通）
栃木縣知事正五位勳五等　平塚廣義
遞信技師正五位勳五等　近藤茂
遞信局長正五位勳六等　海村貞明
大藏省銀行局長正五位勳五等　森俊六郎
叙勳四等授瑞寶章（各通）

◎大屋長官以下行賞

大屋鐵道局長官以下文武官三百一名に對し行賞追加廿九日發表ありたり内朝鮮關係の者左の如し（東京特電）

鐵道局長官從三位勳二等　大屋權平
●叙勳一等授瑞寶章●
平安北道長官正五位勳四等　川上常郎
●叙勳三等授瑞寶章●
總督府判事從四位勳五等　井浦義久
●叙勳四等授瑞寶章（各通）●　以下七名

◎外務省辭令

二十九日左の通り任命發表ありたり（東京特電）

總領事　命紐育在勤　矢田長之助
領事　命間島在勤　太田喜平
大使館一等書記官　命伊國在勤　今井忍郎
領事　命ポートランド在勤　赤松祐之
領事官補　命紐育在勤　富井周

◎勅選議員詮衡

勅選議員補缺十二名中既に詮衡を了したるは阪谷芳郎、添田壽一、福原鐐二郎、上山滿之進、江木翼、高橋作衛、伊澤多喜男、西久保弘道、湯淺倉平の九名也と（東京電報）

◎三線問題
●十月五日協議會開會●

三線聯絡運賃協議會は十月五日鐵道院にて開會會議の結果協定成立せば直に三鐵道の調印となり問題自ら解決すべきも從來の行掛上鮮滿兩者の主張一致し難き形勢なるを以て結局大隈首相より最後の裁斷を與ふるに至る可し尚議長は大隈首相にて今日迄に出席確定したるは添田總裁、寺内總督、白仁民政長官、中村滿鐵總裁にして其の他外務、大藏、遞信の各省次官も之れに參加すべしと（東京特電）

◎大屋長官著京

大屋長官は三線聯絡問題會議列席の爲め二十九日午後八時入京せり（東京特電）

◎北滿通信

▲對露國小包問題　遞信省は外信課長渡邊信氏を浦鹽東亞郵政官廳に派遣する事となり旣に去る二十日東京出發渡航せしとの事なるが右に就き本社が得たる通信によれば渡邊外信課長の用向は露國行小包の輸送をば根本的に改善するにあり露國鐵道が軍需品輸送の爲めに著しく一般貨物の輸送力を減殺し稍もすれば停滯を見つ〻ありて過般露國官憲に交渉の結果漸く小包貨の受付中止は解禁せられたるも而も目下の狀態は長春浦鹽を合して一日僅々三千五百個の輸送に過ぎざるなり然るに内地に停滯し居る小包は東京橫濱大阪神戸を合して十五萬に及び之に西歐より米國經由露國行小包約六萬個を加ふれば實に廿一萬個に達するを以て現在の輸送力を以てしては到底滿足せしむる能はず而して小包の圓滑ならざるは畢竟する處日露貿易の一支障たるに外ならず乃ち渡邊氏の派遣を見たる次第なりといふ

▲露軍隊の魚買占　露國軍隊用の魚類買占の事は既報したるが沿海州長官の命令にて二組の委員會を組織し一はニコラエフスク市に他の一は浦鹽に派遣して捕獲魚を監視せしめ之を規定通り鹽を施し一物だも他の商人に渡さざる樣努め居り

▲黑龍州の家畜　七月十四日より八月十四日に至る黑龍江沿岸の家畜病は露國官憲の發表によれば某町にて馬四頭斃死、西比利病に犯されたるは馬三十六頭内三頭は全快三十三頭は斃死せり、狂水病にて大角獸三頭、犬一頭斃れ疫病にて一頭、コレラ病にて鷄六羽何れも斃死したりと

▲東淸の石炭需要　常に日本炭の賣り込みを拒絶し居たる東淸鐵道は近來漸く薪材を廢し石炭を用ゆることゝなりて滿鐵との間に撫順炭買取契約を爲し既に三回の現品受渡を了せり、契約は一回に一萬噸乃至三萬噸宛受入るゝものなるが多年用ひ來れる薪材を一廢したるには面白き消息あり即ち不便なる薪材を忍んで用ゐ來りたるは日本が石炭の供給を斷ちて宣戰にても布告する樣の事ありてはとの懸念に基けるものにて今回の歐洲大戰に當りて日本は浦鹽の虚を突かず加之ならず新協約によりて日露の關係が益々鞏固となりたるに鑑み到底近き將來に於て日露は干戈を交ゆるものに非らずとの確信を得遂ひに安心して石炭を用ゆるに至れるものなりといふ

◎紅參輸出旺盛
●九月には約百萬圓●

本年朝鮮の人參輸移出は八月末迄の累計に於て一萬四千七百餘斤其の金額三十九萬一千餘圓にて之れを前年に比すれば數量に於て五千斤約七十餘萬圓の減少となり居れるがこは昨年は六月に於て紅參の支那輸出大に振ひし關係により本年は三井物産の商略上六月の積出を九月に延期せし爲め此の現象を現はせしものにて九月に入り紅參の輸出は旺盛を極め約九十萬圓内外の大量を支那に仕向け略昨年の累計と差なき迄に至れる由

◎七回移民查定

今春來募集中なる東拓第七回移民は愈々來る三十日を以て各府縣の受附を締切る由なるが其の申込查定は同拓殖民課にて十月に入り開始すべく尙ほ目下の所申込の景況は餘り振はざる由

◎東拓果樹園盛況

頃日來虎疫流行の爲め流行地の果樹蔬菜栽培者は大打擊を蒙り各地共荷動き少く殊に仁川、大邱方面よりは殆んど京城に入荷せざる狀況なるが東拓纛島果樹園生産の果實蔬菜は些の危險無しとて各地より注文來り頗る盛況なりと云ふ同園は目下葡萄、苹果等の出盛なりと

◎地方經濟狀況（三）
仁川商業會議所調査
黃海道延白郡地方

▲位置及び地勢　本郡は黃海道の東南端に位し東は禮成江を隔て〻京畿道開城郡に接し西は海州郡に北は平山金川兩郡に南は海に面す全部地味肥沃にして農業に適す

▲農業　（米）本郡は東西中央部に小丘伏起し其の北部は比較的灌漑の便に富むも南部は殆んど天水に依りて灌漑に代ふる狀態にあり然るに本年六月以降數度の大降雨に遭ひ北部地方は稻田腐朽し農民一同悲觀の聲を放ちつゝありしが其の後好晴に恵まれ南部は稍々豐作を呼ばれつ〻あれば彼我相償ひて一割增收に豫想せられつ〻あり

（大豆）播種後一時生育面白からざりしが六月の大降雨以來蛆蟲の害ありて農民一同悲觀に陥り居りしも例年になく花をつけ昨今結實良好なれば平年作より三割以上增收の見込なり

（小豆）大豆と同じく一時悲觀を以て迎へられたれども昨今の狀態にては收穫昨年と大差なき事確實なるもの〻如し

（小麥）餘本も殆ど少からず播種後生育順調にして昨年に比し三割三分の增收にして昨今盛んに商取引の行はれつ〻あり

▲主要穀物類の集散概況　本郡は東は禮成江に沿ひ碧瀾渡の二港を控へ南に最湖浦、羅針浦の二港を有し道路平坦にして四通し搬出に便なるが爲め各商店競つて買占を行ひ直ちに諸港を利用して我が仁川港に仕向けられつ〻あり然れども米穀は金主を開城京城に有し東拓殖會社又た競設しつゝありて農民自營として僅かに全部を通じて十分の二を有するに過ぎず從つて仁川を通過し京城に仕向けらるゝもの亦た僅少ならずと云ふ現下の市場相場は米一石に付十一圓五十錢（叺なし）籾五圓十二錢大麥一俵（二石一斗俵）四圓小麥六圓五十錢（叺なし）

▲主要物資集散概況　本郡内に於て消費する雜貨は殆んど仁川河野、鬼頭、赤松、等の各商店により移入せらるゝ移入品の重なるものは石油、紡績絲、叺類を最とし之等の諸品は當地商人の手により各方面に分配消費せらるゝものなり移出品としては牛皮年にして一箇年約六萬圓を算し其の他重要物産を通じて六十七萬圓の巨額を移出しつゝあり近時郡廳主催となり繩叺同業組合を組織し機械を購入し副業を獎勵しつゝあり該組合の設立以來一箇年四萬六千圓強移入しつゝありし繩叺も多少減額を來たす可し

▲金融及經濟狀態　本郡の金融機關としては延安地方金融組合のみにして他は前述の如く開城京城の金主に依りて左右せられつゝあり然れども當期は外國産小麥粉の高値に伴ひ當地産の小麥も高値を以て取引行はれたるを以て市場金融の大勢は滋潤の狀勢に趨り資金の流轉は活潑にして資財金の回收到り良好なるに止らず日用雜貨も繁盛期に入りたるに拘はらず發行高めて盛なりされば金融組合に於ては盛んに農民に對し貯金を獎勵したる結果大正四年八月の預金高三圓六十六錢の少額に比し大正五年八月には一躍五十七圓四十三錢の多額に上りたる如く其の他預金多く至つて金融緩漫の狀態にあり

◎新繭第二回輸出

京畿道本年生産の春繭は舊に恩賜製系場より第一回分として輸出され一千百六十圓にて取引されたるが更に第二回分として此程五百斤の輸出を行ひたりと

◎价川輕鐵成績

价川輕便鐵道九月上旬に於ける營業成績を見るに乘車人員一千六百八人小手荷物八百四十二斤貨物一千四百二噸客車收入四百七十九圓九十一錢貨車收入一千百七十六圓三十五錢運輸收入一千百五十六圓二十六錢にして一日に對する平均收入は七圓三十八錢五

◎敎化門通收用費

本年度京城市區改正に屬せる敎化門通は昌德宮前より黃金町を通じ本町に出で總監部前通と聯絡せしむる該區間の土地買收及び建物移轉料總額は十萬五千圓にして目下著々家屋の取拂進捗中なるが全部の移轉期間は九月廿日迄にして本區間に於ける一坪當買收價額は平均約十圓也と

◎電燈料値下困難

京城電氣會社は目下の電燈料金は本年十二月認可期間滿了となるを以て同社は一般需要者一般の意嚮に基き次期料金制定の際には幾分値下の底意ありしも其後發電裝置の擴張を企畫し近く英國に向け一千キロワットの機械を注文せんとするを初め之れが据付と同時に既設線にて多少の變更を加ふる等其の他の事情に依り明年度は尠なからざる支出を控ゐ居る際なれば現在の料金は再び踏襲せられ當分料金の變更を見る能はざるべしと

南言北語

露國が二年間に亙る歐洲大戰に參加して居ながら極東經營の手を緩めず著々進捗しつゝあるのは驚い▲外蒙經營でも沿黑經營でも御覽の通り▲其れと云ふのも畢竟するに沿黑總督ゴンダッチ君の如き熱心者あるからである▲ゴ君は今迄幾度か大臣に推薦せられたが常に之を辭して▲我は人の忌む所に當つて天職に殉せんのみと云つて居る相な▲元來露國の沿黑總督は同國政治家の最も忌み嫌ふ處でゴ君は殆ど適居同樣の境遇に甘じ極東開拓を畢生の事業として居る▲滿鮮開拓の重任を負ふ吾人も之れ位の決心でやらねばならぬ▲宗社黨の首領と仰がれる肅親王の宗社に對する至情を窺ふに濺ぐ時は王然として神代の概を見ることが出來る▲『國事皆須救未然、漢家高閣漫凌煙、功臣盡道制入營、不省清滿書脊進』▲最一つ『席間在事不推論、二十年來侍帝閽、倚劍長歌須盡醉、桃源橋畔月成村』▲宗社復興の爲國容易にならず王の爲に悲む▲宗社と云へば清室の大忠臣升允と云ふ老丈夫は非常一縷事志と違ひ往々詩に託して孤憤を行つて居る▲『老臣猶在此、幼主竟何如、若射上林雁、或逢蘇武書』と云ふのが其の一とつだ相な▲江木翼博士が或人に遣つた手紙に『頑鹿指を屈し來れば射翁に出己』とあつた▲何の意味かと聞て見ると上原鹿造、三宅碩夫、小川射山（平吉）の三君は法曹界で有名な禿先生だからとは馬鹿にして居る

湖南遊歷（五）
無佛居士の談

▲羅州より全州へ

十八日は朝早くから羅州の市街を一巡した、羅州は舊時代全羅南道の首府なりし丈け市街の區劃がドコとなく大きく流石に今も昔の盛んなりし名殘りを留めてゐる、道路工事等の爲めであらう東西北の三門は跡もなく取り毀され今は其の南大門を見得るのみだ、有志の話しによると此の地方は果實や李がよく出來ると云ふ事であつた

羅州名所古蹟の一たる石燈籠は郡廳の構内で觀た、以前は西門外に建設されてゐたと云ふ事である、關野博士は此の石燈籠は、一千年近いもので若し是れが母國にあるなら幾萬圓と云ふ價値を有つであらうと評價されたさうだが、凡てが完全して居て時代もある、確かに其價値はあらう、舊東門外の稻田中に是れも羅州名物の一たる石幢……剎竿がある、吾輩は其處にも少許の時間を割いて往つて見たが、剎竿の存在を以て往昔其處に禪刹のあつた事を想像されるが何等の傳說もないらしい、剎竿は其の延長約五丈もあらう、兩方に石の角柱があつて、其が剎竿を挾む臺石となつてゐる、而して剎竿が木の代りに石柱である所が他と異つてゐる、其の石柱は下の大きな所は三箇の鐵輪で固め次第に三尺許りの石を鐵の『くさび』で繋ぎ積み上げてゐる、これは頗る面白い式で上部まで完全し一の缺損を見出さぬ、之れも關野博士は千年以上のものと鑑定したさうだ、彼の平壤の有名な剎竿は只だ兩方の挾み石が殘つてゐる丈けでさへ珍重されてゐる

山口管理者外官民有志に送られ午前八時二十分羅州發列車で大塊老と全州に向ふべく北行した、湖南の平野は黃金の波打ち所々に白衣の鮮農の姿を見る所一幅の畵だ、金堤から湯淺東拓出張所長吾々と同行、又此驛で金堤の元老北尾榮太郎氏が態々送迎された

十二時三十分裡里著、輕鐵は既に通じては居たが時間の都合上自動車に搭乘全群國道六里の道を全州へと走らす事とした、三間幅の國道は一目八萬町歩と稱する全州平野の中心を衝いてゐる、新秋清凉疾驅する自動車上の快感は尋常でなかつた、白鷗亭を出ると左方近く大場村細川侯爵家の農場を望見し、東山村では城所の如き岩崎家の東山農場を望みつゝ車を驅る國道の兩側には青々とした活著してゐるアカシヤの並木が續いて、それがよく樹の思想が萌し來つたので一向に折斫の厄に罹るのを見出さぬ、内地人の農家や小店も目に入る、路上は荷馬車の往來が可なり盛んであつた、午後二時すぎ平野の行き詰りにある全州に到著、先づ道廳に李長官始め各位に敬意を表し少憩後大塊老は金融組合會議場に僕は大久保第一部長と立花技師の同道にて市内見物と志した。

中央大學　在外員募集

本大學講義錄の配送を受けて法律經濟を學修する所の在外員を募集す○來る十月を以て在外員の新學年度開始大正六年度新講義錄の初號を發行す在外員志望者は此際入學するを最も便とす

●法科講義錄
●經濟科講義錄

本大學の講義を編纂したるものにして一科共各三學年に分ち一ヶ年に完結す○在外員は各學年を兼修し得るが故に研究の餘力あり て三學年を兼修せば一ヶ年にて全科を修了し得べし○在外員學則及講義錄見本は申込次第送附す

東京神田錦町　中央大學

料理の友

●趣味と實益との十月號●美麗なる彩色密畫及精巧插畫百餘個插入●

精神上の營養物　巖谷小波
▲日本人の嗜好に適した和洋折衷料理　▲萬人の口に向く西洋一皿料理一六種
改良した夕飯の新趣向
▲安價で滋養豐富な秋鯖と鰯の料理十二種
日本人に適當な食物　醫學博士杉本
▲珍らしい京都料理八種　▲栗と松茸料理
一家團欒の秘訣　鳩山春子
▲一人前五錢で巧みに工夫したお惣菜十二種
安價生活と衣食住　湯淺半月
日曜日の午餐に西洋料理の御馳走
秋の野遊び用　風雅な折詰辨當
▲あつさりと食べられる支那料理　▲懸賞料理發表　▲上品な家庭菓子
美味衛生　菜食料理　數種

價一册廿二錢（每月一回）
ハガキで御申込の方は三ヶ月分を見本として差上ます

東京日本橋區 上槇町 大阪中之島 丸 ……
大日本料理研究會　振替東京二四三九八番

國分象太郎氏增補並校正　國分國夫著
第六版　日鮮通話
定價金五十五錢（郵稅共）
發賣元　京城本町　釘本商店　電話四五番　振替京城三五六番

京城　朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
振替貯金口座京城三三二番
電話（長）三三一、一一〇六、一二六〇、一六一一、（本）三三二、六二三、一六二一
支店　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

牛乳浴を召せと今樣に
皮膚を美しくする
日本に初めて出來た
牛乳製品
ニウソ石鹸と
ニウソ洗粉
▲各地化粧品店、藥店にて販賣致候
▲市内は電話御通知次第日々直配達も仕候
▲說明書は御申込に依り何時にても送呈仕候
製造元　東京麴町　阪川牛乳店
朝鮮特約店　京城蓬萊町四　東亞牧場　電話二五番

…我政府の對支方針も頗る[illegible]に多少の變更を爲す事と爲るべしと觀測するものあり（東京特電）

…輸移出入は年々増加の一方にて各地…共本年は前年に著しき激増を爲し…[illegible]北海道の遊船を交渉して近々二[illegible]…を還航就航せしむるに至るべしと

◆公債を種に [illegible] 秋田縣秋津村生れ京城本町四丁目居住の[illegible]社より金四[illegible]の下に會社には百圓券を一口とし三[illegible]院[illegible]せず[illegible]費したる爲め京城地方法院[illegible]取調べ中なりしが此程終結し[illegible]十七日同局の郵便[illegible]の小爲替券在中の封書一通を竊取し[illegible]其後一回同樣竊取したる事發覺し[illegible]

◆一人強盜 [illegible]野龍里任春鎬（三三）及び同居人金永植[illegible]警察署の手に何れも逮捕されたり

景氣付いて來た仁川市況
仁川の虎疫は終熄期に入つた

仁川の虎列拉が猛烈な勢を以て鮮人部落を襲ひつゝ有る事は一般に知られて居るが仁川の事情に暗い各地方では仁川全帶が虎列拉に蹂躙されて今や一歩も足を容れる事が出來ず市民は戰々恟々として不安、危虞の裡に防疫を是事としてゐるやうに思はれてゐるが之は大なる誤解で仁川樞要の位置を占めて居る內地人支那人街は

◆**地勢上の關係** と衛生施設の完備と防疫事務の遺憾無い活動とに依つて今日迄一二の患者を發生したのみで流石暴虐を極めつゝ有る虎疫を完全に驅逐して居るし且つ又全體から言つても仁川は新患者數が減じて終熄期に入つゝある觀あるのは悦ぶ可ことである仁川市街を概觀すれば鐵道以北の地たる萬石町花平里松峴里、金谷里其他は鮮人部落で花房町から山手町內里を縱て公園に至る分水嶺以南の海岸に面した部分は純然たる內地人市街で寺町栗木里花町柳町桃山町は

◆**一部を除いて** 內鮮人雜居であるが、此の三區劃の中恐る可き疫病の發源地は無論鐵道北部で今も猖獗を極め、寺町柳町栗木里は多少の侵入を蒙つたが府の樞要地たる內地人市街には防疫準備整ふて虎軍を威嚇して居るから鮮人部落中殆ど全滅に瀕した部落があるにも拘らず住民は當局及び自衛團の防疫に信賴して平日と異る處無く業務に從事してゐるし一般市況と雖も

◆**少々の打撃は** 免れ難いとしても殆んど平年と變りはない米は新穀出廻前とて惰勢に壓されて取引閑散となつた上に內地安の爲め輸移出が停止し且つ仁川米が鮮內各地に比較して高値である等種々の關係から昨年に比して多少の閑散を來したが斯る現象は虎疫流行の有無に關はる者で無くて自然の大勢に促されて此處に至つたのであるから決して人爲的に奈何とも爲難いのである其他大豆は昨今出盛期に入つた結果取引も盛んになり小麥の廻著又盛んであるし酒類は例年秋氣動き初める頃から

◆**需要が復活し** て十月から正月頃迄が書入時であるから虎列拉が此まゝ終熄すれば何の影響も蒙らずに時季に入る譯であるし昨今少し地方の注文が幾分減少した者の虎疫に脅やかされた上戶黨が大に景氣をつけるので大した打撃は蒙つて居ないらしい、吳服屋も十月頃から冬物の賣出期であるから秋物の一段落ついた昨今何等痛痒を感ぜず

◆**藥屋は消毒藥** や健胃腸劑が平日の十數倍も捌けるので京城釜山方面から盛んに補充して居る、雜貨類の貿易商などは多少の減少は免れ難いが荷動きは相當にあると聞つて居る要するに食料店、魚商、料亭及びシーチングや金巾や其他鮮人向の雜貨を扱つて居る商店は打撃を蒙つて居るが其他は季境の鼻先を一寸邪魔された位ゐの者で大した苦痛はあるまいとの事である

遭難者悉く救護せらる
巨文島沖に於ける鰯漁船遭難後報

去る二十三日全羅南道巨文島近海に於て鰯漁船多數行衛不明となりたる事は既報の通りなるが其後同遭難船救護の爲め遭難地に急航せし警備船扇海丸の爲めに全部發見救護され船體及び乘組員悉く無事なる旨其筋に電報ありたり

始めて京城へ乘込んだ呂昇
斯うして女義界の獨立を宣言した

かけ辛い修行を積んだ呂昇は

共進會の當時來鮮の噂があつた豐竹呂昇は既報の通り二十八日當地に乘込みいよいよ三十日から五日間有樂館で開演する事となつた呂昇は本名を永田仲子と言つて明治七年八月五日名古屋江川端町に生れたもう今年四十三歳の

◆**姥櫻** である父は靈物問屋を業として居たが彼の女は兩親の間に大事の一人娘であつた由來名古屋は美人の產地を以て世に知られた所である呂昇の仲子も生れながらにして天の成せる

◆**麗質** を持つて居つたが不幸父が死亡したので伯父の厄介になる事となつたがその伯父が義太夫の嗜みのある人で『一つさわりを敎へてやらう』と云つて始めて『鎌倉三代記』のさわりを敎へたのは

◆**仲子** が十二の秋であつたそれから間も無くその頃名古屋で斯界の名人と謳はれた竹本浪越太夫（今の五代目土佐太夫）の敎へを受ける事となり三味線を浪越太夫の絃を彈いて居た豐澤源平について習ひ始めたそれは恰度仲子が十三歳の時で

◆**最初** お七吉三の『火の見櫓』から稽古本の頁を繰つたが素より彼の女には終生藝人となつて暮さうといふ程の考へはなかつた然かし土地が土地だけに其の

◆**嬌艶** なる語り振りと巧妙なる節廻しは忽ちにして嗜好者の間に喧傳せられ浪越太夫も亦彼の女の將來には尠からぬ希望をもつて居たところへ偶々大阪より豐竹呂太夫が來て越太夫（今の住太夫）と共に千歳座で興行した時に

◆**師匠** を介して呂太夫の弟子となり同人に連れられて名古屋から大阪へゆく汽車中で今の呂昇の名を授けられその途中呂太夫と別で京都で小土佐と共に一座してゐたがやがて

◆**大阪** に出で本修業に身を委ねることゝなつた時は明治二十五年の六月呂太夫に就て一心不亂に稽古を勵む傍ら毎日辨當携へて文樂座に出かけ之を斯道の

◆**學校** と心得て居つた苦心慘憺たることも半年餘その頃一流席と云はれた播重の席主播直之助氏に見出され其の年の十二月から呂昇も播重の席の一人として出演することゝなつたそして約五箇年の間この

◆**播重** で其の技術を練つた此の時の播重席は東猿の異打、小巴が切前であつたが呂昇は突き出しから三枚目の格に据ゑられた而して播重に於ける彼の女の五箇年間は實に玉成の時代であつたがその後フトした事で播重席と別れ二三名士の

◆**後援** を得て當時一方の重鎭と稱てられて居れ照玉と共に都保美連といふ一座を組織し北の新地曾根崎の寄席の萬亭を改築して根據と定め照玉が異打、呂昇が切前、末虎が三枚目と云ふ席順で茲に女義界の

◆**獨立** を宣言した其の後千日前文明館今の（春木亭）松屋町の松の座等に轉々して漸次地盤を固め呂昇の

◆**名聲** は日々に加はるばかりそれが漸次地方にも響いて九州地方の興行元から招かれたゝめに地方巡業の途に上つたが到る所に非常なる人氣と歡迎とを受けた呂昇は決して凡俗の藝人肌の女では無い彼の女には一かどの見識と

◆**他の** 女義太夫に見る事の出來ない心の修養があつた今度の朝鮮巡業も始めての事ではあり彼の女のこれまでの光輝ある經歷に對して成功さしてやりたいものである。

今夜より有樂館に開演する　豐竹呂昇

仁川の下水問題（三）
惡疫の蔓延と當面緊喫の要務

苦痛と負擔
府協議員河野竹之助氏談

日常生活の不攝生から猛烈な虎疫に襲來されたとは言へ鮮人部落に上水と下水の兩設備が完全に備はつて居たならば斯樣に戰慄すべき

▼**慘禍を見るに** 至らぬ前に撲滅する事が出來たかとも思ひます其の證據には下水と上水の施設に何等遺憾無い內地人市街には偶々侵入しても蔓延する樣な事は絕對に無い理想的に防疫の實蹟を擧げ得られましたが鮮人部落に一度發生するや不眠不休の防疫も猖獗を極めた當時は此を如何とも得なかつた樣な有樣でありました其處で流石の鮮人も漸く衛生に對する自覺が起つて痛切に下水溝水道及び汚穢物の處理等に關する諸般の施設を必要と認める樣になつた相でありますが我々內地人としても今回の慘禍に鑑みて是非共

▼**朝鮮人部落の** 衛生設備を完整して內地人街と鮮人街繁華地と部落の差別無く共に保健上何の危虞も抱かずに生業を勵みたいと思つて居ります、從來は內地人街と鮮人街の間に何となく大きな溝があつて共同的の動作を採るに種々の支障がありましたが今度虎疫の襲來に當つて鮮人街に發生しても內地人側は貿易上にも日常生活上にも至大の苦痛と負擔を負はされ又內地人側に疫病が發生すれば鮮人側が

▼**脅やかされる** と言ふ極めて密接な關係を持つて居ますから官民共に此の間の消息を極めて公正に觀察して今後に處し再び今回の樣な惡疫流行の慘事を嘗めたくないと思ひます

衛生組合案
府參事丁致國氏談

千百人以上の支那居留民が平素不潔な生活を營んで居り乍ら唯の一人も虎列拉に侵されなかつたのは決して水や生物を食べずに極端に熱い食物を採る結果に外ならぬと念ひます此點は我々の

▼**深く鑑みれば** ならぬ事でありますが更に上水下水汚穢物處理等諸般の衛生上の施設に至つては吾々朝鮮人全體が甫めて痛切に其の必要を感じる樣になりました、朝鮮人部落に於ける實狀は昨日の御紙に松元署長が委しく語られてありましたから私が改めて申す迄もありませんが吾々の希望と致しましては今回の慘憺たる惡疫の流行に鑑み各部落民は秩序ある衛生組合を組織して官の指導を俟つ迄も無く自發的に自治的に衛生上の設備を完成し以て幼稚極まる衛生思想を向上せしめ再び悲慘事を繰り返したく無いと衷心から祈つて居ります此れは

▼**單に仁川許り** でなく京城でも平壤でも其他の都府でも皆一樣でありますが鮮人市街地は劃然とした都市經營の下に發展したのでは無くて雜然無秩序の裡に成長したのでありますから一町一街の市區改正をするにも多大の費を投じ幾多の困難が伴ふて國費を以てしても理想的に改善する事が出來ない相であります殊に仁川の如きは山の中腹かさなくば急傾斜地滿潮面下の低地等に市街及び部落があるのでありますが、此れに

▼**下水溝の如き** を設けるには尠なからぬ困難が伴ふて到底府の施設に依るか官民共同で事業を起すに非ざれば成功は至難だらうと思ひます希はくば今後は官民共同內鮮人相扶の下に諸般の衛生施設を整へて我れ人共に健康上の保證を得たいと思ひます。

李子爵の勝訴

京畿道富川郡文鶴面延壽里李三眞（五六）同所李圭三（三七）の母子は赤尾崔鎭九辯護士を訴訟代理人とし元三眞の夫にして圭三の實父なる京城蛤洞子爵李夏榮氏（五九）を相手取り夫婦確認同居、及び入家手續き履行並に相續確認民籍訂正手續き履行の請求訴訟を京城地方法院に提起し李子爵は大久保太明軾兩辯護士を訴訟代理人として久しき間同法院に於て岩本裁判長松寺檢事正の係にて取調中なりしが此程原告兩名の請求は之れを棄却し訴訟費用は原告兩名の平等負擔とすとの判決ありたり

連絡船に救はる
▽絕影島沖の遭難漁船

本月二十三日釜山絕影島沖合に於て

遭難せる明石漁船の行衛につき其の後の調査を綜合するに遭難當時行衛不明と爲りし十八艘中二艘は統營港に於て一艘は巨濟島沿岸に於て發見し十艘は其の後釜山港に避難し來り五艘は船體破壞流失したり乘組員は總員中一名今尚行衛不明なるも其他は全部避難又は關釜連絡船に救助せられたり行衛不明者に付ては引續き搜索中

コレラ彙報

△**明治町に疑似** 京城明治町二丁目十九番地人力車夫柳彌一妻ツネ（三九）は二十九日午後四時半頃疑似虎列拉に罹りたるより警察にて直ちに患者を順化院に收容し患家及び附近は消毒の上交通遮斷を爲したり

△**釜山の疑似虎疫** 釜山牧の島に一名同じく漁船內に二名の疑似虎列拉發生したり（釜山）

名人呂昇來る
初日語物（三十日）

千本櫻 三段目 すしやの段　東廣
傳兵衛 堀川 猿廻し之段　呂昇 ツレ昇六
午後正六時より　有樂館

△**市十郎乘込** 三十日より華々しく新座に開演する市川市十郎一座四十餘名は二十九日午後九時南大門驛着京城に乘込みにり座方その他劇場關係者の盛なる出迎へを受け

△**呂昇初日語物** 女義界の明星豐竹呂昇は盛んなる前景氣にて三十日より華々しく開演すべくその當日の語り物左の如し▲御祝儀の入船（豐竹昇玉、豐竹小昇）▲信功記三ノ口上かんやの段（豐竹昇女）▲加賀見山五ツ目又助住家之段（豐竹金昇）▲八陣八ツ目正清本城之段（豐竹昇六）▲朝顏日記濱松小屋之段（豐竹都昇）▲玉藻前三段目道春館之段（豐竹呂勇）▲阿波鳴戶八ツ目順禮歌之段（竹本撮勇）▲三十三間堂平太郎住家之段（豐竹右昇）▲佐倉宗五郎子別之段（豐竹若昇）▲千本櫻三段目すしや之段（竹本東廣）▲お俊傳兵衛堀川猿廻し之段（豐竹呂昇、つれ昇六）

本社構內電話復設

昨冬本社火災に罹り爾來構內電話の交換を廢止致居候處今般再築落成致候間今本社同時に交換を復設致候間御用向きの方は一旦『京城日報社』へ御呼出し被下（尤も番號御呼出の必要無之候）更に左記の番號に依り御電話被下度候

京城日報社

編輯局		營業局	
一番	社長	一一番	經理部長
二番	編輯局長	一二番	營業局長
三番	政治部 經濟部	一三番	經理部
四番	社會部 繪畫部	一四番	廣告部長
五番	編輯部 校正係	一五番	販賣部長 廣告係
六番	書記	一六番	外交係 毎日申報係 廣告係 販賣係
七番	毎日申報 幹部	一七番	京城日報係 廣告係 販賣係
八番	毎日申報 編輯部	一八番	代理部
九番	應接室（竹の間）	一九番	第一應接室
十番	來賓閣	二〇番	發送部
		二一番	寫眞部
		二二番	植字部
		二三番	整版部 守衛

京日案內

普通 一回前金一行三十錢　番外 一回前金一行六十錢　▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

▼家庭の習字帳代用 習字帳 現代の書翰文▼等色々新荷著 本町二丁目（電二五二七）ウツボヤ書店 165

◎貸家 新築と勸人向 龍山鐵道構內 電話六五八番 北園商店 420

◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞ふ 電話二七八一番 △御報參上 △本町四 △書肆群書堂 211

◎門生入用 十四五歳の內地人にして市內に保證人ある者 旋 寫眞館 408

◎貸家 光化門通遞信局通用門前 電話二三三六番 旋寫眞館 409

◎習字御手本類は何でも有ります（目錄進呈）東京市南神保町九 精華堂法帖店 265

◎貸家 商店向き電話電燈水道付 京城鍾路目抜の場所（姓名在社） 28[illegible]

○古本なら明治町筋 買入誠實御報參上 野村書店 電二六三六 281

◎代診生至急入用 履歷書携帶來談あれ 希望者は自筆 姓名（京日仁川支局） 415

◎店員入用 年齡十八歳以上御得意廻り本人來談保證人を要す 龜屋雜貨店 297

◎看護婦募集 新龍山電車終點前 派出多忙に付き至急 明治町二丁目 惠愛看護婦會 205

◎英國製拾二番二連銃附屬品一切 右安價にて讓る御希望の方は電話一千〇十六番へ 288

番外 よぼうト消毒 京城衛生社 黃金町三丁目（電一一八二） 421

移轉 琴古流 尺八研究會 壽町十七番地 元商業會議所上通り 稽古日從前之通 家村青楓 425

△洋本職工至急入用 但し罫線印刷に經驗ある者（商店名在社） 423

讓店 市內目抜の場所、有利なる玩具商、今般歸國に付き居抜の儘百圓餘りにて讓りたし（姓名在社） 424

店員採用 年齡二十歳以上身體強健にて多少鮮語を解し甲種商業學校卒業程度の者一名採用す希望者は本人自筆の履歷書携帶の上直接面談あれ 南大門通五丁目 板倉支店 422

◎鮮語◎新學期 十月二日開始 三ケ月修業 京城青年會 402

◎英語◎各級募集 外國教師出講 南大門通一（漢城銀行前）京城青年會 403

△各種鑛物分析 京城太平通二の二三（朝陽分析所） 電話二八二三 松永分析所 260

店員入用 十四五歳より十八歳位迄の男子一名採用す身元保證人を要す本人自筆履歷書送れ 京義線沙里院 伊藤吳服店 411

病人輸送入 普通病用 傳染病用 寢臺車 各別々に御用命願上候 本町二の前山組電百十六番 京城醫師會 418

高等 下宿 割安勉強 本町二ノ四五 山田醫院前 和合館 419

店員入用 十五六歳以上二十五六歳位迄商業に經驗あるもの數名希望者來談市內に確實なる保證人を要す 京城本町 ちしぶや 電八九〇番 405

和洋ストーブ一式 煙突製造 ストーブ据付 板硝子ペイント塗料 京城本町三丁目（電話四三三番） 岩見伊勢松商店

○開店と大勉強○
支那廣東料理…人は特に廣東より呼寄せ十月二日より開店仕候間何卒御引立の程願上候
出前は遠近に不拘早速御届け仕候
△廣東料理開店▽
宴會は一圓以上三十圓迄如何樣とも御用命に可應候衛生突場の設備も有之候是非一度御來遊の上御試食願上候
京城長橋西北（貫鐵洞一四〇） 品芳樓

十月一日ヨリ五日間 冬衣大賣出シ
三中井吳服店
所在地 京城本町 大邱元町 元山仲町 晋州榮町
（釜山支店十月五日開店）

建築と設備とは國境に於る代表的旅館なり
新義州常盤町
綠屋旅館
電話六四番
親切叮嚀勤勉は當旅館の特色なり

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話八四一 九四五 振替京城五七番

女鵯

渡邊默禪

「二一九」齒痒い答

首低れたまゝ肅然と謹聽してゐた鳩子は、その詞が了るとしづかに手巾をとつて、睫毛を拭いた。殘る涙は零度以下の空氣に凍りついて、霜のやうになつてゐたのである。

『はい。よく分りました。有難うございます』

『ぢやあ御決心なさいますか』

『今感情と理性の中間にさまよつて居るんですわ。それを破らうか破るまいかといふことは、もつと考へて見た上でなければ決しかねるんです。情ないとですけれども仕方がございません。それが眞實なんですから』

『爾うですか』勇は餘りに張合のないのに失望したらしく思はず太息をついた。『そりやア美しい感情に生きていたいといふのが、殆んど婦人の通有性であるですから、忠實に自分の感情に仕へやうとなさるのは無理もないですが、併しそれに囚はれて一家庭を犧牲にするといふことは斷じて不可んです。自分一人の感情は小さな私事、一家庭の利害は大きな公事ですからね。○況して貴女の御生命にも關する――幾度も關しかゝつてゐた大變な問題でせう。命が無くなつたらお嬢さん、感情どころぢやないぢやありませんか。それこそ勘定に合はない話だ、アッハッハ」

『いゝえ、まだ其處までは參りません。お話を窺つて見て成程と理解ができましたことは、ちやうど硝子戸の曇を拭きとつて先方を見渡すやうな心持ですが、只先方がはつきりと見えたといふだけのことで、直と先方へ進んで出るといふ勇氣は、まだ出て來ないんですの。やつぱり私しには決斷心が乏しいんですわね。乏しいといふよりはまるつきり無いのかも知れません。無理にその勇氣を絞り出したとしましても、隔てになつてゐる硝子戸を破つてからでないと、進んで出られません。その硝子戸といふのは感情なんです、感情が私しの理性を遮つてゐるのです。私しは』

その齒痒さを嘲るやうに言つた。

『いゝえ、私しの命がそれほど大切なものかどうか、私しには分りませんの。實際分らないんです』

『え、何ですツて!?』勇は不思議な言葉に呆れて叫んだ。

『兎も角考へさして下さいましな。今晩よく考へて見ますわ』

『あゝ、爾うなさい』飛起きて『大分遅くなつた。急いで出かけませう』

燃えつくした松明の火を外の一本に移して先に立つた。鳩子もそれに續いた。と、先刻から驚愕の耳を兎のやうに立てゝ寒さに顫ひながら聞いてゐた生駒も、少し距離を置いてからがさ〳〵と木蔭を匐ひ出した。無論怯うなつては何處までも跡を跟けねばならぬ。陰謀の發覺！一身の破滅！彼にとつては一大事件である。

今日の獵場は其處からあまり遠くはなかつた。勇は頓て熊を狩出した洞窟の下に來た。

『お嬢さん、此處です』

『へえ――、こんな處に何か有るんですか』怪しんで立停つた。

『ちよつとお待ち下さい。今下見をして來ますから』

松明を雪の上に立てながら、自分だけ先に岩に飛揚つて、洞窟の中に入つて去つた。その跡に居殘つて鳩子は、只一人松明の傍に佇みつゝ、火に反射する雪の谷の凄い周圍を瞬きして、怖しかつた今日の追憶に耽つてゐた。

その際、生駒はどう思つてか、のたり〳〵と鳩子の後から匐ひ寄つた

平壤名産 玄武栗 値下 ◎生栗卸小賣 ◎旭町一 玄武堂 振替電話一五七二へ掛け下されば配達致します

商況

大阪三品 十二月限 一五三、九〇 一五四、〇〇 一月限 一五三、九〇 一五四、一〇

大阪期米(廿九日) 付 高値 安値 止め [illegible]

▲取組高減少 [illegible]

新刊紹介

▲化學と工業(第一號) 創刊雜誌『化學工業』は彼の高遠なる學理を攻究する學術雜誌の領域を離れ實際問題を捉へて通俗に化學工業を鼓吹せんとするものにて我國に於ける此種雜誌の嚆矢なり主筆西田博士は英獨佛露に留學したる新進の學者たるは人の知る如く主幹近藤氏赤化學技師の出身として大阪毎日、東京朝日等にありて技術出身の工業記者として其先鞭をつけたる人なり、卷頭の後藤男爵の『戰爭と化學の權威』は一派の氣焔を吐き獨帝がボーン大學化學科の學生たりし未聞の珍談を語り西田博士の『獨逸の造兵研究』は親しく獨露の戰地に於て實地研究せるもの海軍の喜五斯調査委員會に於て講演せるもの共他數多博士學士の物せる頗る見る可きものあり又漫畫子の見たる工業化學會其他の工業漫畫家として定評ある山下鈎、近藤浩の諸氏が河原多、鴨居、松原、辻本等の諸博士を活躍せしめたるものにて工業雜誌に於ける新しき試みと云ふべし表紙の大日本麥酒、口綿の王子製紙工場は石井柏亭畫伯が親しく其工場に於ける寫生畫の三色版にして之を美術雜誌と云ふも恥ぢず特に廣告の冠匠印刷の精緻なるは流石に工業家の經營として社中の工藝上の知識を窺ふに足るものなり(東京丸之內日本工業通信社發行定價廿五錢郵税一錢半)

▲英語精習(八月號)十二錢東京市芝區南佐久間町一ノ一其社

▲日本警察新聞(三八〇)五錢東京市芝區愛宕町二ノ一四其社

▲巫女殺し(上司小劍著)近代傑作叢書第二輯で曾て諸雜誌に發表した事のある『巫女殺し』『[illegible]は悲しや』『夜の葉』『第三の母』の四編を集めて一卷としたもので[illegible]居る事の出來ない全般にシックリと沁み込んで居る濕つぽい哀愁は充分に之を味ふ事が出來る(五十錢東京市日本橋區濱町二ノ一二須原屋)

◎防疫にデシンを代用せよ 戰局終息未だ之れを豫想するに困難なる今日輸入石炭酸は染料製造原料に使用するが故に昨今殆三、四圓內外の高値を唱へつゝありて消毒に使用する事は經費の許さざる關係上我國產にして總督府專賣局方劑後藤デシンを代用するが尤も經濟にして且つ使用上頗る安全なりと

內科 小兒科 多々見醫院 京城日出小學校前 入院隨意 電話九四〇番

日韓書房 新版報告
三宅雪嶺著 改訂縮刷 想痕 定價一圓二十錢 送料十二錢
桑木嚴翼著 哲學五流辨 及其他 定價一圓三十錢 送料十二錢
澁澤榮一述 論語と算術 定價一圓 送料八錢
長田幹彥著 紅夢集 定價九十五錢 送料十二錢
小栗風葉著 青春 定價一圓五十錢 送料十二錢
京城本町二丁目 電話一四五一 振替口座一一五

ドクトルメチチーネ 羽太鋭治先生著
男も女も必讀の書 醫學的女性研究書 忽ち賣切の處漸く出來
女の肉的研究
好評三版出來
定價九十五錢 郵税金八錢
東京麴町有樂町 實業之世界社 振替東京三四三三

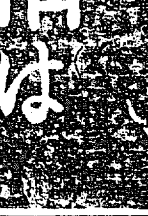
開業參年 增築落成
毎々御引立を蒙り難有奉存候御贔負樣の多くなるに從ひ家屋も狹隘を感じ候に付豫て屋上を增築中の處今般愈々落成仕り候
就ては增築御披露の印として大々的勉强可仕候間何卒御來遊の程願上候尚料理の義は時節柄最も衛生に注意し材料等も極て新鮮なるものを撰み居候
金谷園 長谷川町九七(電一五二五)

大日本優等清酒 ハクツル 白鶴 品質純良 衛生無害
釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番五八四番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町三丁目 電話八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

人參精は滋養強壯之大關なり
總督府許可 人參精 エキス ツムラ
今直ニ服用あれ目前ニ其効を早す
定價 [illegible]
各地有名な藥店ニ販賣ス
朝鮮總督府專賣局所管人蔘販賣所 製劑本舖 京城本町通 明治町角 ツムラ人參部 電話一八七〇番

新荷著 スイツル製懷中時計
機械堅牢示針正確體裁優美然も使用的にして價格の低廉なる事天下無比



右は今回着荷の商品にて本商會獨りの取扱品に無き所のもの也依て願はくば急速御用命被仰下候尚地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨 直輸入商 イングレツシー商會 本店 京城本町二丁目 電話九七二番

五龍背温泉 新義州より汽車で卅分

金泉館 泉間自動車時間 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

汽船釜山出帆廣告
○立神丸 門司、神戸、大阪行 月 日後五時出帆
○元山丸 清津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○小倉丸 元山、城津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○元山丸 西湖、新浦、城津、清津行 日後六時出帆
○第三琴平丸 門司、宇品、神戸、大阪行 月 日後六時出帆
○天興丸 住須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山海岸通 本船取扱店 大池回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第一咸鏡丸 九月二十九日後四時入 十月一日正午出帆
朝鮮鐵道連絡にて旅客運輸並荷物取扱仕候
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆)
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第一阪鶴丸 月 日後九時出帆
第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出帆
仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行 須磨丸 東安丸 天智丸 木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行 信濃川丸 群山、釜山、横濱行 潮州丸 南浦、關門、神戸、大阪行 漳州丸 鎭南浦、大連行 信濃川丸 大連直行 福州丸 潮州丸 鎭南浦行 天智丸 清津、浦潮行(元山出帆) 城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 印八 安平丸 宮島丸 上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 湖北丸
御注意 切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店

尼崎汽船仁川出帆
○大有丸 群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪直行 十月三日後四時出帆
○神代丸 十月六日後四時出帆
○秀吉丸 九月 日後四時出帆
仁川海岸通 益齊回漕部

日本郵船仁川出帆
○相模丸 大連、芝罘、牛莊行 十月九日 正午出帆
高砂丸 十八日 正午出帆
三河丸 九月十九日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十二番 堀回漕部

朝鮮郵船
○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○成鏡丸 門司より釜山各港寄港雄基間航路 釜山發
○穩城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 元山より各港經由雄基行 元山發
○忠清丸 ○平壤丸 城津清津直通行便乗釜山より門司又は長崎行 元山發
○永興丸 北久味、五里浦行 毎月廿八回 元山發
○海德丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 長生浦方魚津寄港 釜山發 浦項發
○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 釜山發
○統營丸 ○海州丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 各港經由麗水行 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行 木浦發
○宗信丸 海州他各港經由德洞又は白翎島行 仁川發
○江原丸 青島、大連、芝罘行 仁川發